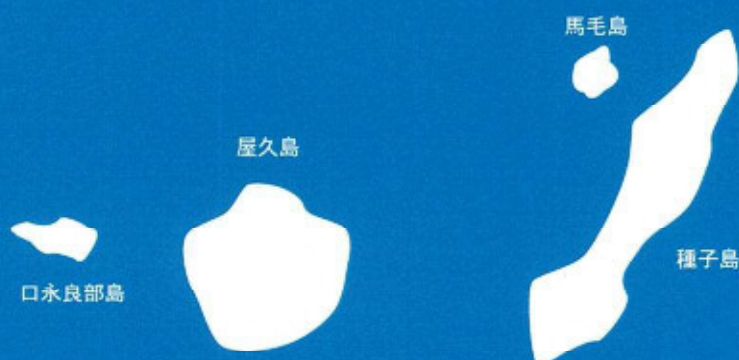


令和元年度

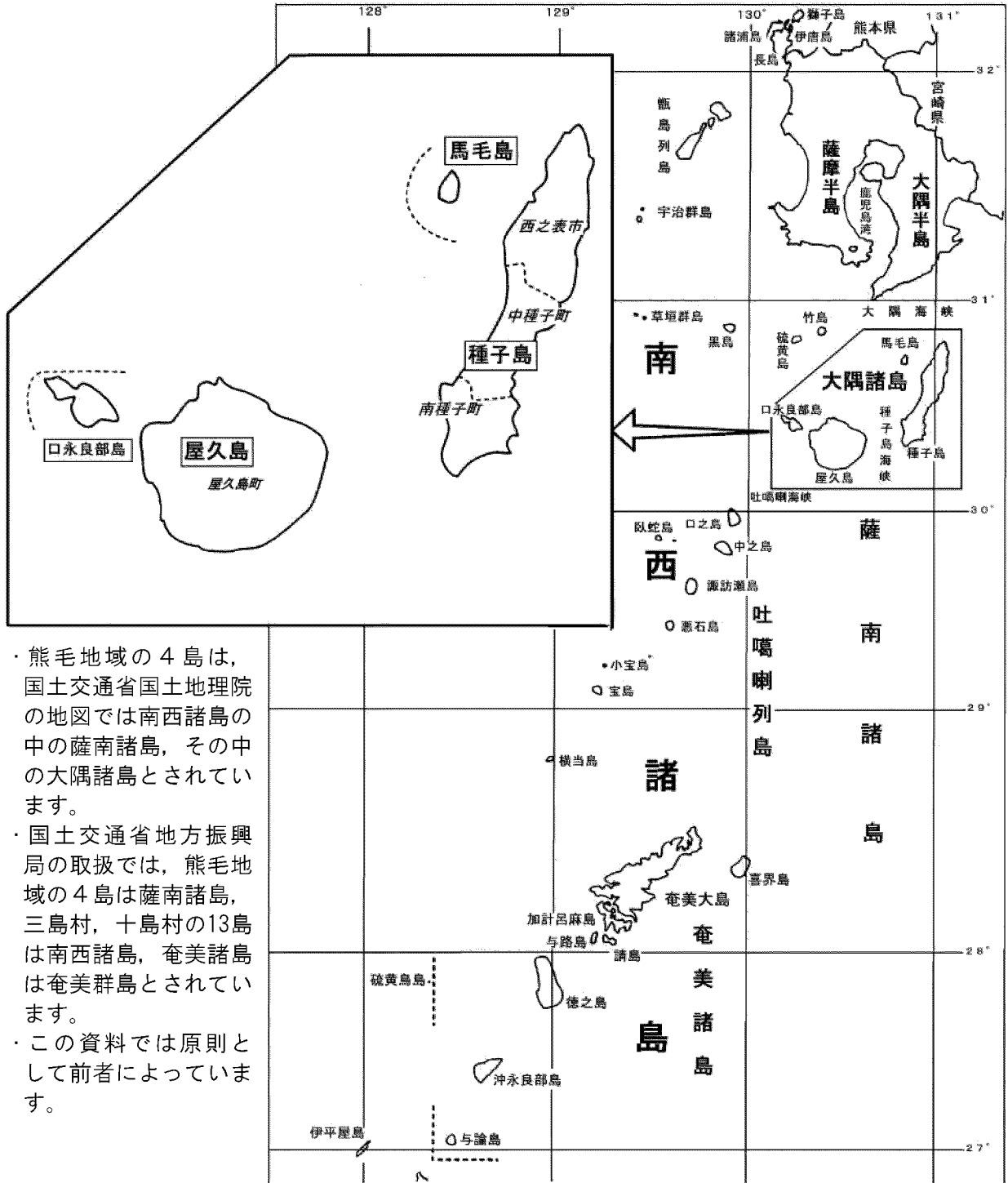
熊毛地域農業の動向



令和3年3月

熊毛地域農政企画推進会議

熊毛地域位置図



はじめに

我が国の農業・農村を取り巻く情勢は、農業従事者の減少や高齢化の進行、国際的な経済連携に象徴されるグローバル化の急速な進展、新型コロナウイルスの感染拡大など、大きな変化に直面しております。

特に、新型コロナウイルスの感染拡大により、熊毛地域を含めた本県の農業において、牛肉や茶、花きなど、需要低下による収入減などの影響を受けたところ です。

このため、耕種・畜産のコスト低減策やICT等を活用したスマート農業の推進による生産性の向上や高収益作物の普及推進など、食料供給基地として更なる発展と農業所得の向上等に努め、「稼ぐ力」の向上に取り組んでいくこととして います。

さらに、新型コロナウイルス対策としては、相談窓口の設置や経営継続補助金の活用など、様々な経営支援・需要喚起対策等を実施するとともに、ポストコロナを前提とした新たなかごしまの農業を構築する先進的な取組への支援を進めているところ です。

また、熊毛地域においては、大きな気象災害はなかったものの、種子島で46年ぶりのミカンコミバエ侵入による特殊病害虫対策の実施や、サツマイモ基腐病の急激な発生による多大な被害がありました。特に「安納いも」の生産量が大幅に減少し、次年度に向けた対策を図るためプロジェクトチームを設置し、関係機関と連携しながら取り組んでいるところ です。

今後とも、農業従事者の高齢化に伴う後継者不足に対応した、担い手育成や新機就農者対策など総合的な対策を講じ、熊毛地域農業の維持・発展を図って参りますので、御支援・御協力をお願い申し上げます。

さて、ここに、「令和元年度熊毛地域農業の動向」を取りまとめましたので、地域農業振興に活用していただければ幸いです。

なお、生産実績数値の取りまとめに当たっては、各市町からの報告データを活用させていただいたことを感謝申し上げます。

令和3年3月

熊毛地域農政企画推進会議

目 次

第1章 熊毛地域の概況

第1節 地域の立地条件

1. 位置	1
2. 地勢	1
3. 気象	1
4. 人口	3
5. 産業構造	3

第2章 農業の動向

第1節 地域農業の位置

1. 地域農業の現状	6
2. 農家の動向	7

第2節 令和元年度の農業生産

1. 部門別農業生産実績	9
2. 市町別農業生産実績	11

第3節 作物別生産の概況

1. 園芸の振興	15
2. 地域特産物	23
3. 畜産	28

第4節 主要施策の成果

1. 創意と意欲に満ちた担い手づくり	36
2. たくましい農業の基盤づくり	39
3. 鳥獣害対策について	45
4. 活力にみちたむらづくり	46

第1章 熊毛地域の概況

第1節 地域の立地条件

1. 位 置

熊毛地域は、九州本土の最南端佐多岬から、南東方向約40 km、南西方向約60 kmの洋上にある種子島、屋久島、口永良部島、馬毛島の4島からなる。この地域は、南西に弧を描いて連なる日本列島約3,000 kmの南西3分の1を形成する琉球弧（南西諸島）の最東北部に当たる。

種子島1市2町（西之表市、中種子町、南種子町）、屋久島1町（屋久島町）の1市3町で構成されている。

総面積は99,368haで、県土の10.8%を占めている。

2. 地 勢

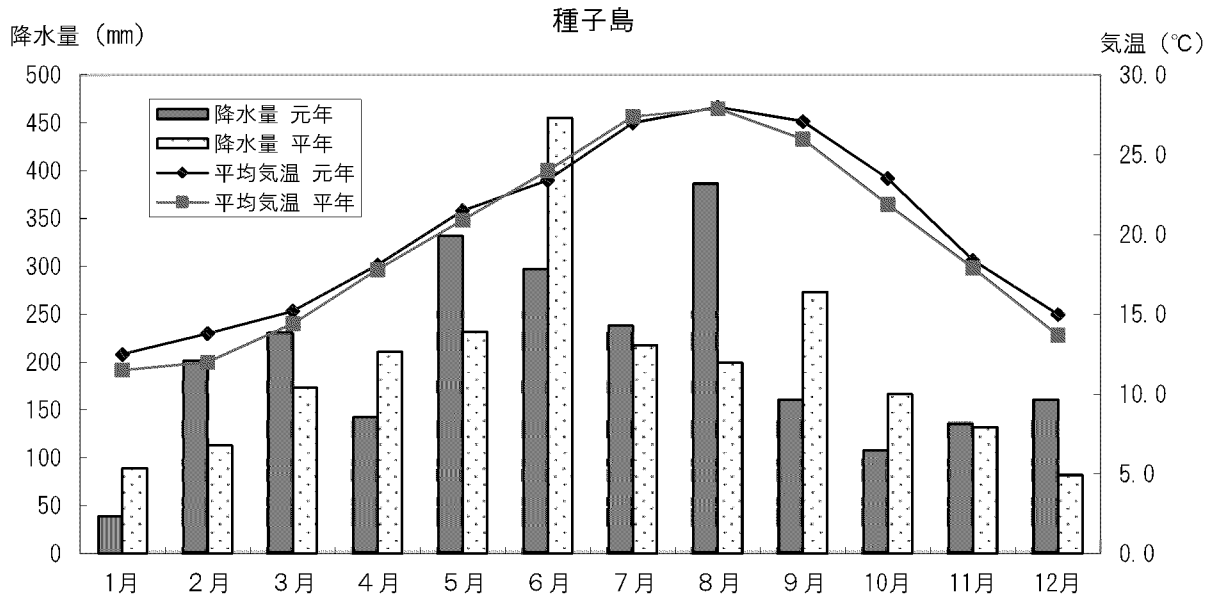
種子島は、丘陵性の山地が連なる比較的平坦な島であり、中央部から南部にかけては、段丘台地が発達している。土壌は、低腐植性黒色火山灰土が大部分で、深耕・有機質増肥等対策の必要な土壌が多い。

一方、屋久島は、山岳地帯が大部分を占め、九州の最高峰宮之浦岳をはじめ、千数百メートル級の高峰が連なっており、山裾は、西部海岸では急斜面をなして海に臨み、東部海岸は海岸から2kmの幅で海岸段丘が取り巻いている。土壌は、表土が浅くやせており、流亡が激しく有機質の増肥・流亡防止対策の必要な土壌が多い。

3. 気 象

種子島は、平年値で見ると、年平均気温19.6℃、年間降水量2,346mm、年間日照時間1,804時間の亜熱帯性気候であり、沿岸部は一年中ほとんど霜の降らない地帯が帯状に取り巻いている。

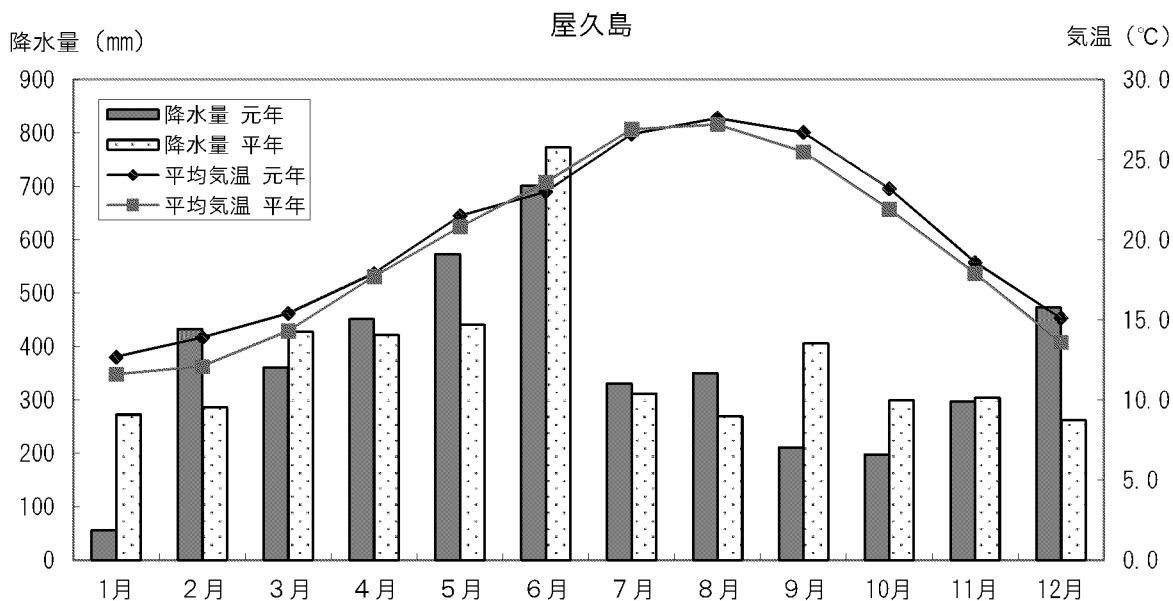
屋久島は、沿岸部では気温が高く、亜熱帯的海洋性気候であるが、内陸部では気温も低く、山間部では積雪をみるなど、きわめて変化に富んでいる。平年値で見ると、年平均気温19.4℃、年間降水量4,479mm、年間日照時間1,531時間となっている。



種子島 単位：mm, °C

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
降水量	元年	39	202	231	143	332	297	238	387	161	108	135	161
	平年	89	113	174	211	232	455	218	200	273	167	132	82
平均気温	元年	12.5	13.8	15.2	18.1	21.5	23.4	27.0	28.0	27.1	23.5	18.4	15.0
	平年	11.5	12.0	14.4	17.8	20.9	24.0	27.4	27.9	26.0	21.9	17.9	13.7

資料：気象庁データ（地点：種子島）



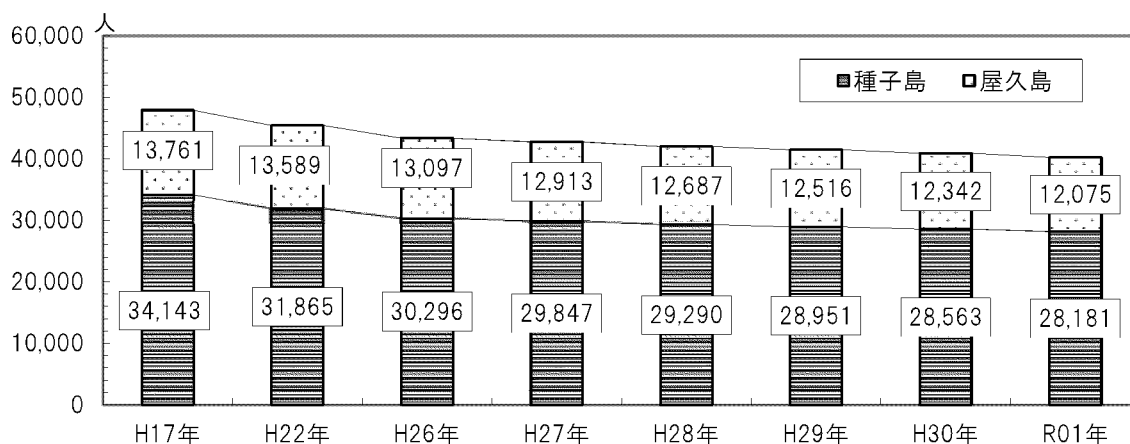
屋久島 単位：mm, °C

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
降水量	元年	56	433	361	452	573	701	331	350	211	198	297	473
	平年	273	287	428	422	441	774	312	269	406	300	304	263
平均気温	元年	12.7	13.9	15.4	17.9	21.5	23.0	26.6	27.6	26.7	23.2	18.6	15.1
	平年	11.6	12.1	14.3	17.7	20.8	23.6	26.9	27.2	25.5	21.9	17.9	13.6

資料：気象庁データ（地点：屋久島）

4. 人口

熊毛地域の人口は、昭和45年以降減少の一途をたどっており、令和元年は40,256人で、これは県全体の約2.5%にあたる。



単位：人

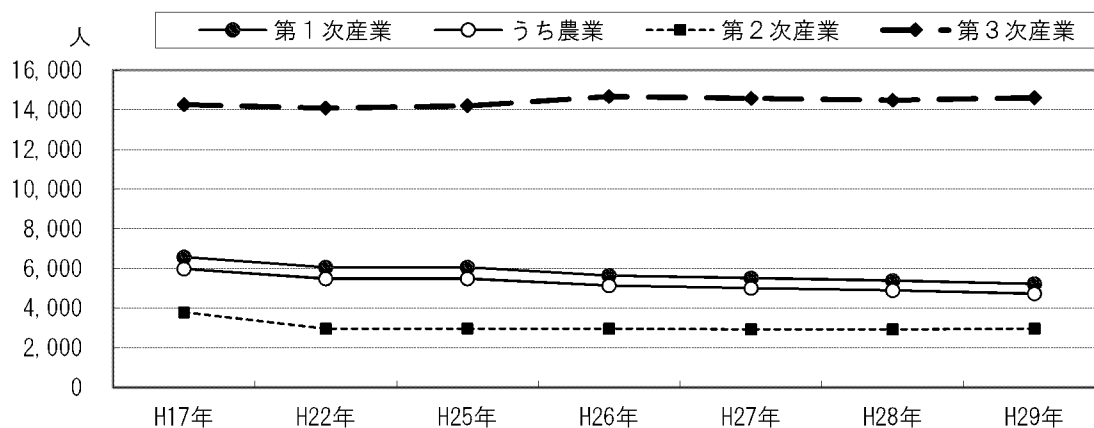
項目	H17年	H22年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R01年
種子島	34,143	31,865	30,296	29,847	29,290	28,951	28,563	28,181
屋久島	13,761	13,589	13,097	12,913	12,687	12,516	12,342	12,075
合計	47,904	45,454	43,393	42,760	41,977	41,467	40,905	40,256

資料：国勢調査，県人口移動調査（県統計課調べ）

5. 産業構造

(1) 就業人口

平成29年の就業人口は22,798人となっており、産業別構成比は、第1次産業が22.9%，第2次産業が13.0%，第3次産業が64.1%である。また、農業就業者は4,731人で就業人口の20.8%を占めており、第1次産業就業者の約9割を占めている。



単位：人，%

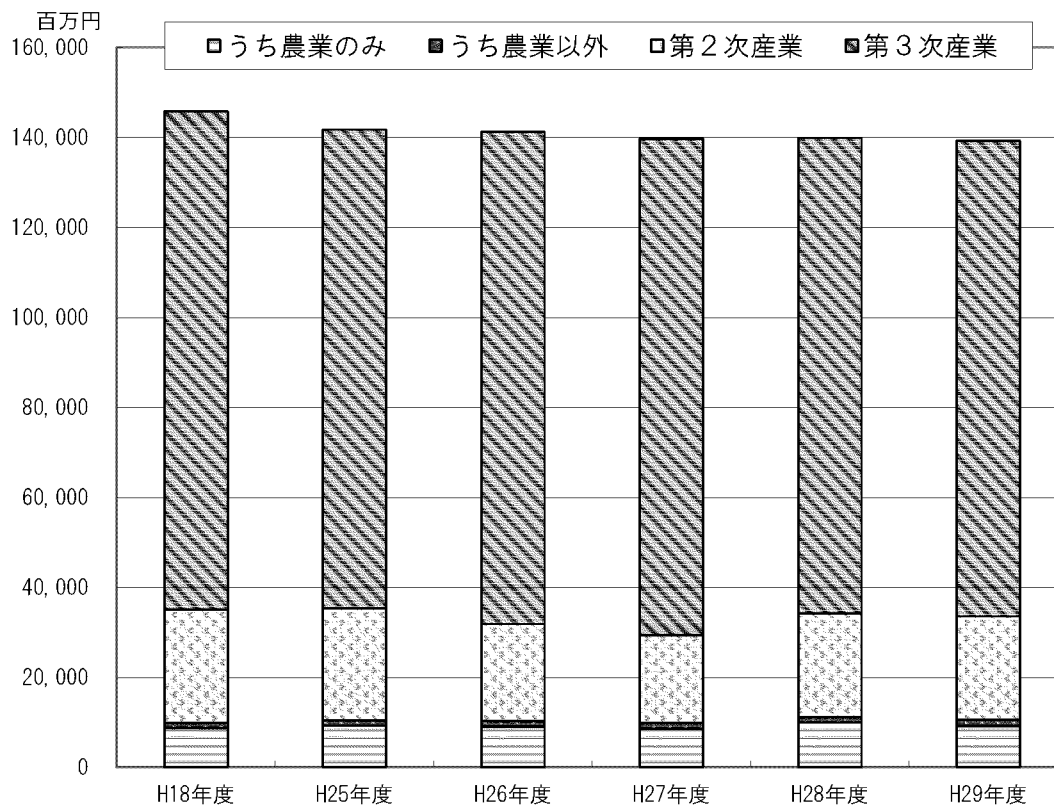
項目	H17年	H22年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	割合
第1次産業	6,577	6,066	6,066	5,653	5,520	5,390	5,225	22.9
うち農業	5,976	5,494	5,494	5,130	5,007	4,890	4,731	20.8
第2次産業	3,794	2,966	2,966	2,955	2,937	2,926	2,958	13.0
第3次産業	14,263	14,086	14,198	14,672	14,578	14,488	14,615	64.1
合計	24,634	23,118	23,230	23,280	23,035	22,804	22,798	100.0

資料：国勢調査（県統計課調べ）

(2) 管内総生産

平成29年度の管内総生産額（名目）は、1,414億79百万円となっている。

構成比は、第1次産業が7.4%（うち農業6.4%），第2次産業は16.3%，第3次産業は74.7%となっている。



単位：百万円，%

項目	H18年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	割合
第1次産業	9,847	10,348	10,306	9,757	11,090	10,477	7.4
うち農業のみ	8,619	9,164	8,931	8,561	9,903	9,099	6.4
うち農業以外	1,228	1,184	1,375	1,196	1,187	1,378	1.0
第2次産業	25,190	25,019	21,562	19,571	23,064	23,090	16.3
第3次産業	110,740	106,403	109,373	110,396	105,774	105,711	74.7
小計	145,777	141,770	141,240	139,724	139,928	139,278	98.4
税・関税等	148,433	918	1,310	991	666	2,201	1.6
総生産額計	142,062	142,688	142,550	140,715	140,595	141,479	100.0

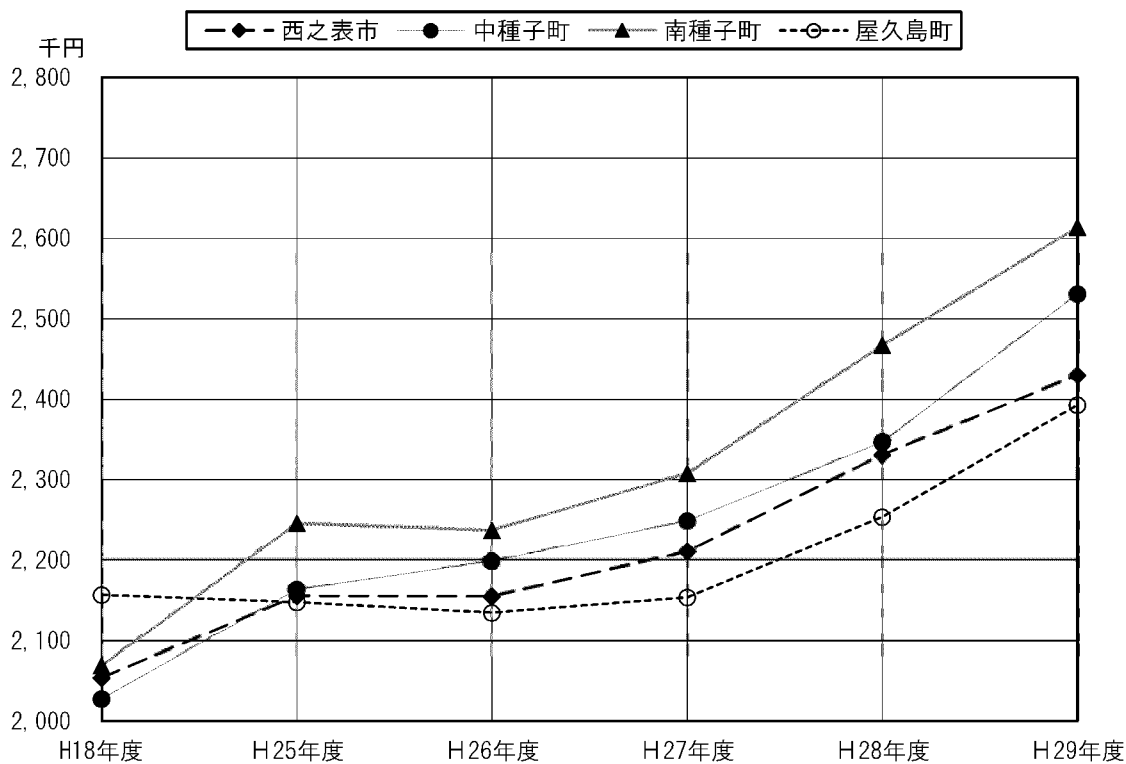
資料：市町村民所得推計報告書

注1) 「税・関税等」とは、「輸入品に課される税・関税」から「総資本形成に係る消費税」を差し引いたものであり、全産業の合計に加えるものである。

注2) 四捨五入の関係で総数と内訳合計が一致しない。

(3) 1人あたり所得

平成29年度の管内平均の市町民1人あたり所得は、2,463千円となっている。
 県民所得との格差は、この10年来91～99%で推移している。



単位：千円

項目	H18年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
西之表市	2,054	2,156	2,155	2,211	2,331	2,430
中種子町	2,028	2,164	2,199	2,249	2,347	2,531
南種子町	2,069	2,246	2,237	2,308	2,467	2,614
屋久島町	2,157	2,148	2,135	2,154	2,254	2,393
熊毛地域	2,081	2,167	2,168	2,214	2,350	2,463
県	2,264	2,299	2,312	2,384	2,414	2,492

資料：市町村民所得推計報告書

第2章 農業の動向

第1節 地域農業の位置

1. 地域農業の現状

種子島と屋久島は、それぞれ農業条件を異にしている。

種子島は比較的平坦で畑地が多く、広い耕地面積、温暖な気候、基盤整備の進んだ畑地等、地域の特性を活かし、さとうきび、さつまいも、肉用牛を主要品目として、ばれいしょ等の野菜、米や茶の早出し農産物に加え、酪農、レザーリーフファン等の産地化も進んでいる。

屋久島は、山岳地帯が多く、耕地は海岸線沿いに分散している中で、温暖な気候を活かし、ぼんかん、たんかん等の果樹や茶の産地化が進んでいる。また、口永良部島では放牧による肉用牛の低コスト生産が図られている。

区分(単位)	地域計	対県比	種子島	種子島			屋久島	備考
				西之表	中種子	南種子		
総農家数(戸)	3,935 (100.0)	6.2%	3,270 (100.0)	1,310 (100.0)	1,177 (100.0)	783 (100.0)	665 (100.0)	
販売農家数(戸)	3,103 (78.9)	8.3%	2,722 (83.2)	1,068 (81.5)	1,017 (86.4)	637 (81.4)	381 (57.3)	
主業農家数(戸)	1,062 (34.2)	9.3%	948 (29.0)	401 (30.6)	324 (27.5)	223 (28.5)	114 (17.1)	
専業農家(戸)	1,854 (47.1)	8.6%	1,634 (50.0)	685 (52.3)	587 (49.9)	362 (46.2)	220 (33.1)	「2015年 農林業センサス」
兼業農家(戸)	1,249 (31.7)	7.8%	1,088 (33.3)	383 (29.2)	430 (36.5)	275 (35.1)	161 (24.2)	
自給的農家(戸)	832 (21.1)	3.2%	548 (16.8)	242 (18.5)	160 (13.6)	146 (18.6)	284 (42.7)	
農業従事者数(人) 〔自営農業に従事した世帯員数〕	6,329	8.0%	5,552	2,210	2,039	1,303	777	
農業就業人口(人) 〔自営農業に主として従事した世帯員数〕	4,661	8.1%	4,091	1,702	1,489	900	570	
基幹的農業従事者(人) 〔農業就業人口のうち、ふだん仕事として自営農業に従事した世帯員数〕	4,371	8.3%	3,875	1,631	1,396	848	496	
耕地面積(ha)	9,665	8.3%	8,690	3,150	3,380	2,160	975	令和元年 作物統計 調査にお ける耕地 面積調査 (農林水 産省)
田	1,978	5.4%	1,830	581	527	722	148	
畑	7,687	9.7%	6,860	2,570	2,850	1,440	827	

(注) 1 ラウンドの関係で、計が一致しない場合がある。

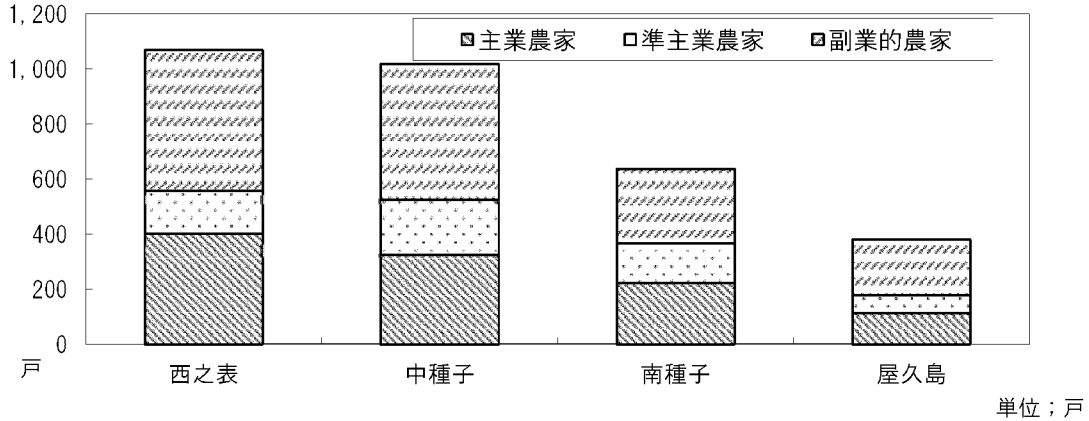
2 農家数の下のカッコ書きは、総農家数に占める割合を示す。

2. 農家の動向

(1) 販売農家数

平成27年の販売農家数は3,103戸で、平成22年と比較すると568戸減少しているが、減少率は15.5%で県平均減少率の18.1%よりは少ない。

区分別では、主業農家が34.2%で、平成22年に比べ割合が増加している。

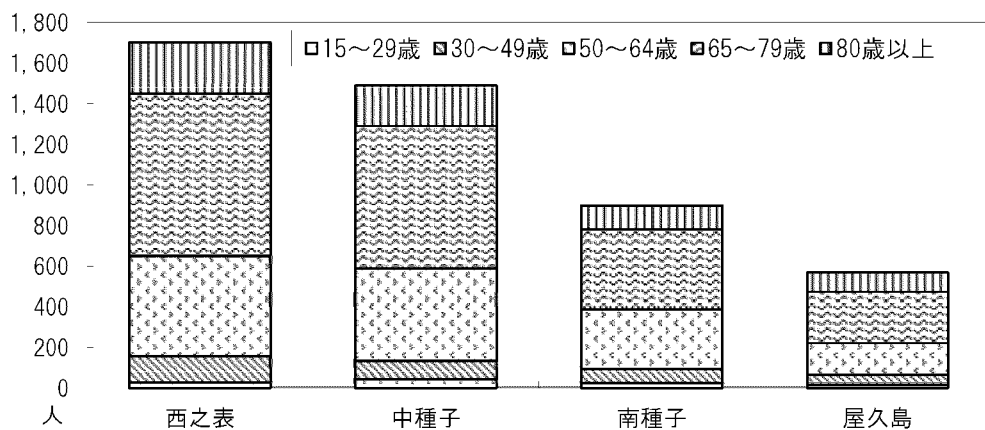


年度	区分	種子島				屋久島	熊毛地域	割合 %	県全体
		西之表	中種子	南種子	種子島				
H27	主業農家	401	324	223	114	1,062	34.2	11,383	
	準主業農家	156	201	145	66	568	18.3	5,454	
	副業的農家	511	492	269	201	1,473	47.5	20,699	
	計	1,068	1,017	637	381	3,103	100.0	37,536	
H22	主業農家	456	375	234	122	1,187	32.3	13,180	
	準主業農家	250	247	200	107	804	21.9	7,536	
	副業的農家	568	568	314	230	1,680	45.8	25,139	
	計	1,274	1,190	748	459	3,671	100.0	45,855	

出典：2010、2015年農林業センサス

(2) 年齢別農業就業人口

平成27年の農業就業人口は4,661人で、65歳以上が6割以上を占める。



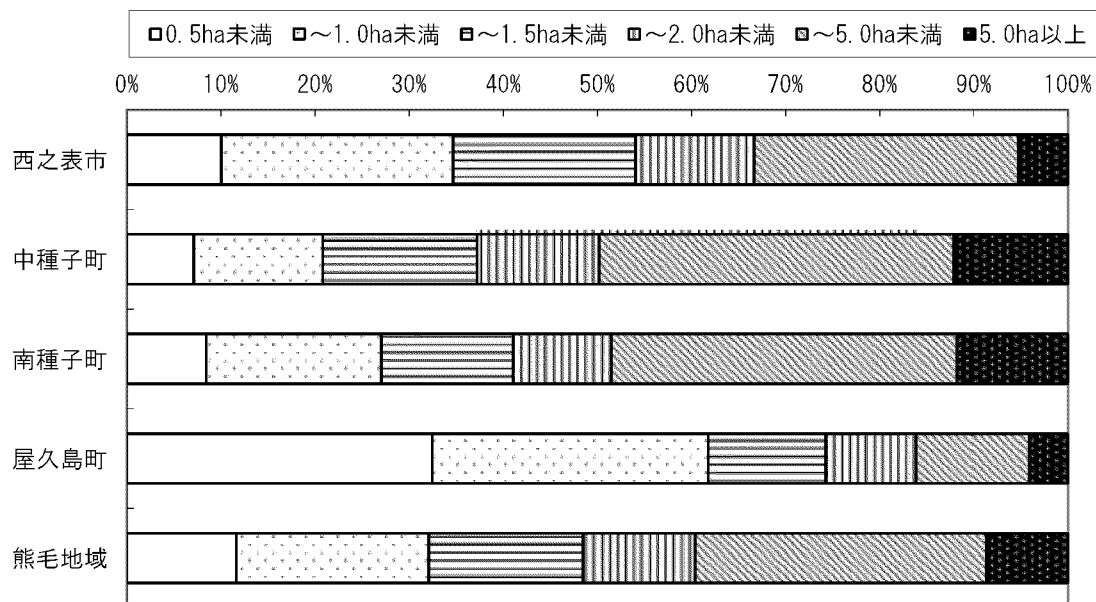
年齢	種子島				屋久島	熊毛地域	割合 %	県全体
	西之表	中種子	南種子	種子島				
15~29歳	27	44	24	16	111	2.4	1,479	
30~49歳	129	91	71	50	341	7.3	5,466	
50~64歳	496	454	291	157	1,398	30.0	15,189	
65~79歳	798	701	394	252	2,145	46.0	26,533	
80歳以上	252	199	120	95	666	14.3	9,214	
計	1,702	1,489	900	570	4,661	100.0	57,881	

出典：2015年農林業センサス

(3) 経営規模別経営体数

平成27年の管内の1ha以上の経営規模農家戸数は67.9%を占めている。

また、種子島では5ha以上の農家が262戸（県全体の8.0%）と、経営規模の拡大が進んでいる。



単位：戸

経営面積	種子島				屋久島町	熊毛地域	県全体
	種子島	西之表市	中種子町	南種子町			
0.5ha未満	239	109	75	55	135	374	8,584
~1.0ha未満	534	268	145	121	122	656	10,875
~1.5ha未満	475	211	173	91	52	527	5,873
~2.0ha未満	342	137	137	68	40	382	3,416
~5.0ha未満	943	306	398	239	50	993	7,195
5.0ha以上	262	57	128	77	17	279	3,279
計	2,795	1,088	1,056	651	416	3,211	39,222

出典：2015年農林業センサス

第2節 令和元年度の農業生産

令和元年度の農業生産額は、162億3千万円（前年対比103.9%）であった。

耕種部門は普通作物は7.4%増、工芸作物は11.5%増、野菜は10.5%増、花き・花木は2.0%増、果樹は17.8%減で、畜産部門は2.0%減となった。

この結果、生産額構成比は、耕種部門61.4%、畜産部門38.6%となった。

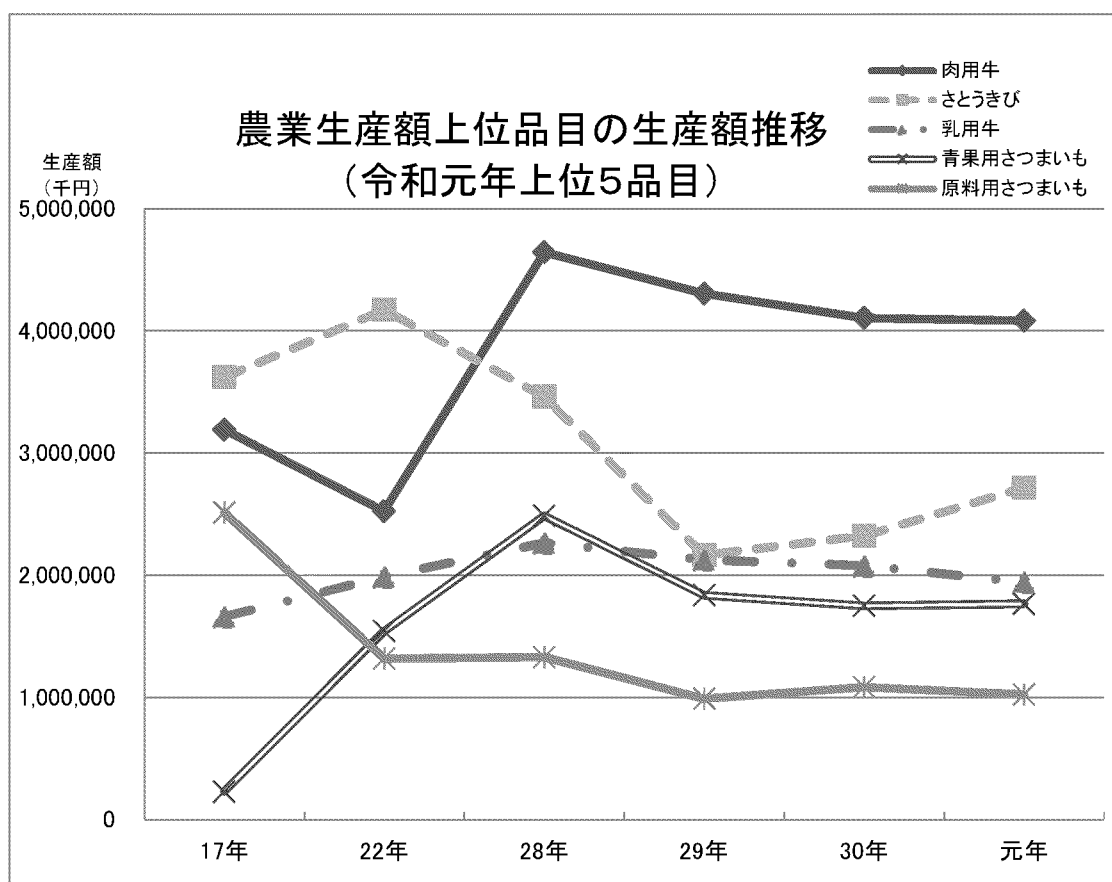
1. 部門別農業生産実績

(1) 総括

	作付面積 ha	10a当たり 収量 kg・本	生産量 t, 千本	農業生産額 千円	生産額構成比	
					構成比 %	前年対比 %
普通作物	1,954	—	31,087	1,810,117	11.2	107.4
米（水稻）	787	417	3,285	771,533	4.8	131.9
さつまいも	1,152	2,410	27,767	1,021,484	6.3	94.2
落花生・そば	14	—	35	17,100	0.1	100.0
工芸作物	2,439	—	131,337	4,053,984	25.0	111.5
さとうきび	2,125	6,113	129,904	2,716,513	16.7	117.0
葉たばこ	52	246	128	257,430	1.6	84.5
茶	227	348	791	987,887	6.1	105.3
ガジュツ・ウコン	35	—	515	92,154	0.6	127.5
野菜	909	—	16,602	3,211,063	19.8	110.5
青果用さつまいも	604	1,902	11,488	1,766,334	10.9	101.0
ばれいしょ	147	1,911	2,813	417,926	2.6	87.2
スナップえんどう	27	1,104	297	229,025	1.4	70.7
その他	131	—	2,004	797,778	4.9	226.1
花き・花木	52	—	—	418,219	2.6	102.0
レザリーフファン	13	40,752	5,200	144,897	0.9	106.7
その他	39	—	—	273,322	1.7	99.7
果樹	400	—	1,225	469,077	2.9	82.2
たんかん	250	325	812	289,321	1.8	80.0
ぼんかん	134	276	371	127,968	0.8	79.5
その他	16	—	42	51,789	0.3	107.9
耕種計	5,753	—	—	9,962,460	61.4	108.2
	ha			千円	%	%
肉用牛	—	—	5,986頭	4,082,679	25.2	99.5
乳用牛	—	—	14,732	1,944,336	12.0	93.6
豚	—	—	6,934頭	222,363	1.4	104.6
その他	—	—	—	17,300	0.1	135.4
飼料作物	1,712	—	—	—	—	—
畜産計	1,712	—	—	6,266,678	38.6	97.8
その他面積	210					
合計	7,676	—	—	16,229,138	100.0	103.9

（注1）ラウンドの関係でそれぞれの計が一致しないことがある。

（注2）市町村報告による熊毛支庁集計。鹿児島県生産農業所得合計とは一致しないことがある。



主要品目の農業生産額推移

(単位：千円)

区分	17年	22年	28年	29年	30年	元年
肉用牛	3,190,000	2,522,067	4,643,110	4,304,734	4,103,681	4,082,679
さとうきび	3,618,700	4,170,056	3,457,926	2,163,250	2,321,180	2,716,513
乳用牛	1,660,000	1,986,738	2,264,257	2,126,616	2,077,573	1,944,336
青果用さつまいも	228,492	1,540,394	2,486,473	1,837,171	1,749,390	1,766,334
原料用さつまいも	2,513,400	1,318,140	1,329,300	987,276	1,083,952	1,021,484
茶	716,000	506,163	731,512	1,165,341	938,567	987,887
水稻	1,210,000	817,574	701,688	676,452	584,859	771,533
ばれいしょ	1,103,847	595,544	543,582	333,151	479,254	417,926
ぼんかん・たんかん	1,076,811	562,994	603,807	452,308	522,810	417,289
その他	928,646	2,635,889	1,815,930	1,639,849	1,754,227	2,520,446
合計	16,245,896	16,092,565	18,577,585	15,686,148	15,615,493	16,229,138

2. 市町別農業生産実績

(1) 耕種部門 (R01)

作物名	西之表市					中種子町				
	作付面積 (ha)	10a当り収 量kg・本	生産量 (t・千本)	生産額 (千円)	農家戸数 (戸)	作付面積 (ha)	10a当り収 量kg・本	生産量 (t・千本)	生産額 (千円)	農家戸数 (戸)
1 普通作目	552		8,097	522,681		770		14,766	704,638	
(1)米	207	428	887	227,024	622	254	422	1,073	216,210	639
(2)さつまいも	331	2,112	7,176	279,156	407	515	2,661	13,692	487,829	534
(3)落花生	10	339	32	16,093	23	0.5	220	1.1	599	7
(4)そば・その他	4.2	35	1.5	408	1					
2 工芸作目	672		33,196	1,288,722		1,192		74,410	1,745,516	
(1)さとうきび	551	5,914	32,587	684,139	495	1,139	6,519	74,254	1,550,380	753
(2)葉たばこ	14	247	33	66,081	10	29	235	68	140,384	15
(3)ガジュツ	10	1,614	159	27,046	49	2.4	1,262	31	5,231	11
(4)茶	98	424	417	511,456	33	22	259	57	49,521	3
(5)ウコン										
3. 野菜	496		10,221	1,657,980	667	259		4,025	1,126,469	
(1)だいこん	0.0	6,175	2.5	100		7.3	9,050	661	12,679	7
(2)はくさい	0.0	7,080	1.7	54						
(3)キャベツ	0.1	4,955	5.4	341						
(4)レタス	3.7	1,678	62	6,500	1					
(5)ブロッコリー	12	688	81	23,900	50	67	701	469	175,572	125
(6)にがうり	4.8	2,343	113	19,700	46					
(7)かぼちゃ	2.5	1,504	37	11,300	18	1.5	833	13	2,957	6
(8)実えんどう	0.2	444	0.8	500	2					
(9)きぬきやえんどう	0.5	588	3.0	3,100	9					
(10)スナップえんどう	16	990	160	118,700	102	5.1	1,566	80	64,100	33
(11)そらまめ	1.6	1,031	17	7,700	11					
(12)ばれいしょ	84	2,223	1,856	284,300	152	24	1,592	382	48,240	64
(13)青果用さつまいも	356	2,116	7,524	1,137,000	273	153	1,576	2,413	368,921	118
(14)やまいも	1.4	1,429	20	3,272						
(15)たまねぎ	10	2,500	250	19,300	3					
(16)採種用野菜・その他	4.6	1,903	87	22,213		0.7	-	6.8	454,000	7
4. 花き・花木	19			154,021		8			60,675	
(1)スプレーギク	0.6	26,984	170	7,387	3	0.4	8,250	33	1,324	2
(2)レザリーフファン	0.8	31,053	236	4,811	12	4.0	45,569	1,800	52,873	43
(3)ドラセナ										
(4)フェニックス・ロベロニー	1.5	14,362	214	6,867	4					
(5)輪ギク・その他	1.2		353	9,300	2	2.7	752	20	633	13
(6)球根 フリージア	14	89,035	12,554	122,249	5	0.8	559	4.7	5,845	18
(7)球根 その他	0.7	18,943	133	3,407	4					
5. 果樹	1.1		10	17,480		14		55	24,017	
(1)たんかん	0.1		0.1		1	11	395	44	12,127	21
(2)ぼんかん						1.4	321	4.5	1,366	7
(3)パッションフルーツ	0.5	1,700	8.5	6,590	11	0.1	500	0.5	382	2
(4)マンゴー	0.2	450	0.9	2,790	1	1.1	482	5.3	10,142	12
(5)びわ・その他	0.3	200	0.6	8,100	3					
耕種部門計	1,740			3,640,884		2,242			3,661,315	

※青果用さつまいもには、加工用食品用、飼料用、種子用、自家食用を含む。

作物名	南種子町					屋久島町				
	作付面積 (h a)	10a当り収 量kg・本	生産量 (t・千本)	生産額 (千円)	農家戸数 (戸)	作付面積 (h a)	10a当り収 量kg・本	生産量 (t・千本)	生産額 (千円)	農家戸数 (戸)
1 普通作目	602		8,003	551,192		31		221	31,606	
(1)米	308	407	1,256	311,843	352	18	387	69	16,456	42
(2)さつまいも	294	2,296	6,747	239,349	269	13	1,197	152	15,150	195
(3)落花生										
(4)そば・その他										
2 工芸作目	480		23,371	615,760		95		360	403,986	
(1)さとうきび	435	5,302	23,063	481,994	209					
(2)葉たばこ	9.4	280	26	50,965	5					
(3)ガジュツ	16	1,576	253	42,977	62	4.1	812	33	6,092	14
(4)茶	20	148	29	39,824	8	88	327	288	387,086	25
(5)ウコン						2.9	1,352	39	10,808	16
3. 野菜	115		1,793	345,903		39		564	80,711	
(1)だいこん	0.5	5,000	25	500	5	2.0	1,100	22	1,000	120
(2)はくさい						1.2	1,250	15	500	120
(3)キャベツ						1.1	2,727	30	1,450	120
(4)レタス										
(5)ブロッコリー										
(6)にがうり										
(7)かぼちゃ	1.5	941	14	3,532	8					
(8)実えんどう						1.4	529	7.0	4,483	10
(9)きぬきやえんどう	0.8	669	5.3	6,243	8					
(10)スナップえんどう	5.7	1,007	57	46,225	30					
(11)そらまめ	0.5	1,500	7.5	4,215	3					
(12)ばれいしょ	14	1,330	170	22,151	42	26	1,559	405	63,235	20
(13)青果用さつまいも	90	1,671	1,500	256,837	106	5.0	1,000	50	3,576	180
(14)やまいも						1.8	2,011	35	6,048	12
(15)たまねぎ										
(16)採種用野菜・その他	1.8	787	14	6,200	11	0.8	-	-	419	122
4. 花き・花木	22			181,303		3.6			22,220	
(1)スプレーギク										
(2)レザリーフファン	8.1	39,304	3,164	87,213	61					
(3)ドラセナ	2.7	4,296	116	6,700	48	2.0	3,950	79	10,270	6
(4)フェニックス・ロベロニー	7.0	29,400	2,056	57,506	92					
(5)輪ギク・その他						1.6	5,000	80	11,950	10
(6)球根 フリージア	1.0	96,000	960	5,020	7					
(7)球根 その他	2.8	97,482	2,749	24,864	6					
5. 果樹	28		125	40,774		358		1,035	386,806	
(1)たんかん	8.4	628	53	15,778	23	230	311	715	261,416	529
(2)ぼんかん	18	379	68	19,373	23	115	260	299	107,229	619
(3)パッションフルーツ	0.5	796	4.0	2,781	7	7.9	222	18	16,695	105
(4)マンゴー	0.7	171	1.2	2,843	3	1.2	167	2.0	340	5
(5)びわ・その他						3.5		1.0	1,126	40
耕種部門計	1,246			1,734,932		526			925,329	

※青果用さつまいもには、加工用食品用、飼料用、種子用、自家食用を含む。

作物名	種子島計					熊毛地区計				
	作付面積 (ha)	10a当り収 量kg・本	生産量 (t・千本)	生産額 (千円)	農家戸数 (戸)	作付面積 (ha)	10a当り収 量kg・本	生産量 (t・千本)	生産額 (千円)	農家戸数 (戸)
1 普通作目	1,923		30,866	1,778,511		1,954		31,087	1,810,117	
(1)米	770	418	3,216	755,077	1,613	787	417	3,285	771,533	1,655
(2)さつまいも	1,139	2,424	27,615	1,006,334	1,210	1,152	2,410	27,767	1,021,484	1,405
(3)落花生	10	333	33	16,692	30	10	333	33	16,692	30
(4)そば・その他	4.2		1.5	408	1	4.2		1.5	408	1
2 工芸作目	2,344		130,977	3,649,998		2,439		131,337	4,053,984	
(1)さとうきび	2,125	6,113	129,904	2,716,513	1,457	2,125	6,113	129,904	2,716,513	1,457
(2)葉たばこ	52	246	128	257,430	30	52	246	128	257,430	30
(3)ガジュツ	28	1,565	443	75,254	122	32	1,469	476	81,346	136
(4)茶	139	362	503	600,801	44	227	348	791	987,887	69
(5)ウコン						2.9	940	39	10,808	16
3. 野菜	870		16,038	3,130,352		909		16,602	3,211,063	
(1)だいこん	7.8	8,778	688	13,279	12	10	7,217	710	14,279	132
(2)はくさい	0.0		1.7	54		1.2	1,358	17	554	120
(3)キャベツ	0.1		5.4	341		1.2	2,926	35	1,791	120
(4)レタス	3.7	1,678	62	6,500	1	3.7	1,678	62	6,500	1
(5)ブロッコリー	79	699	551	199,472	175	79	699	551	199,472	175
(6)にがうり	4.8	2,348	113	19,700	46	4.8	2,348	113	19,700	46
(7)かぼちゃ	5.5	1,155	64	17,789	32	5.5	1,155	64	17,789	32
(8)実えんどう	0.2	400	0.8	500	2	1.6	488	7.8	4,983	12
(9)きぬきやえんどう	1.3	643	8.3	9,343	17	1.3	643	8.3	9,343	17
(10)スナップえんどう	27	1,104	297	229,025	165	27	1,104	297	229,025	165
(11)そらまめ	2.1	1,148	24	11,915	14	2.1	1,148	24	11,915	14
(12)ばれいしょ	121	1,987	2,408	354,691	258	147	1,911	2,813	417,926	278
(13)青果用さつまいも	599	1,909	11,438	1,762,758	497	604	1,902	11,488	1,766,334	677
(14)やまいも	1.4		20	3,272		3.2	1,719	55	9,320	12
(15)たまねぎ	10	2,500	250	19,300	3	10	2,500	250	19,300	3
(16)採種用野菜・その他	7.1			482,413	18	7.9			482,832	140
4. 花き・花木	48			395,999		52			418,219	
(1)スプレーギク	1.0	19,709	203	8,711	5	1.0	19,709	203	8,711	5
(2)レザリーフファン	13	40,752	5,200	144,897	116	13	40,752	5,200	144,897	116
(3)ドラセナ	2.7	4,296	116	6,700	48	4.7	4,149	195	16,970	54
(4)フェニックス・ロベロニー	8.5	26,737	2,270	64,373	96	8.5	26,737	2,270	64,373	96
(5)輪ギク・その他	3.9			9,933	15	5.5			21,883	25
(6)球根 フリージア	16	84,810	13,519	133,114	30	16	84,810	13,519	133,114	30
(7)球根 その他	3.5	81,864	2,882	28,271	10	3.5	81,864	2,882	28,271	10
5. 果樹	42		190	82,271		400		1,225	469,077	
(1)たんかん	20	492	97	27,905	45	250	325	812	289,321	574
(2)ぼんかん	19	374	72	20,739	30	134	276	371	127,968	649
(3)パッションフルーツ	1.1	1,182	13	9,753	20	9.0	344	31	26,448	125
(4)マンゴー	2.0	370	7.4	15,775	16	3.2	294	9.4	16,115	21
(5)びわ・その他	0.3		0.6	8,100	3	3.8		1.6	9,226	43
耕種部門計	5,228			9,037,131		5,754			9,962,460	

※青果用さつまいもには、加工用食品用、飼料用、種子用、自家食用を含む。

(2) 畜産部門 (R01)

区 分			西之表市	中種子町	南種子町	種子島計	屋久島町	熊毛計	備 考	
肉	子牛	出 荷 頭 数 (頭)	1,937	2,191	1,168	5,296	404	5,700	平均単価 (千円/頭、羽、t)	
		生 産 額 (千円)	1,335,472	1,520,753	800,781	3,657,006	289,586	3,946,592		692.4
用	肥育牛	出 荷 頭 数 (頭)	37	4		41	6	47	1,148.0	
		生 産 額 (千円)	44,129	3,556		47,685	6,272	53,957		
牛	老廃牛	出 荷 頭 数 (頭)	107	96	32	235	4	239	343.6	
		生 産 額 (千円)	29,099	44,082	8,263	81,444	686	82,130		
生 産 額 計 (千円)			1,408,700	1,568,391	809,044	3,786,135	296,544	4,082,679		
乳	子牛	牝	出 荷 頭 数 (頭)	25	205	73	303		303	236.3
		生 産 額 (千円)	4,653	48,156	18,781	71,590		71,590		
	牝	出 荷 頭 数 (頭)	59	206	73	338		338	204.8	
		生 産 額 (千円)	8,735	41,718	18,781	69,234		69,234		
小 計 (千円)			13,388	89,874	37,562	140,824		140,824		
用	育成牛	出 荷 頭 数 (頭)	25	2		27		27	640.0	
		生 産 額 (千円)	15,921	1,360		17,281		17,281		
牛	生乳	生 産 量 (t)	7,996	4,846	1,890	14,732		14,732	118.4	
		生 産 額 (千円)	952,964	581,869	209,678	1,744,511		1,744,511		
	老廃牛	出 荷 頭 数 (頭)	111	50	64	225		225	185.4	
		生 産 額 (千円)	17,975	7,195	16,550	41,720		41,720		
生 産 額 計 (千円)			1,000,248	680,298	263,790	1,944,336		1,944,336		
豚	子豚	出 荷 頭 数 (頭)	60			60	4,320	4,380	21.8	
		生 産 額 (千円)	1,800			1,800	93,886	95,686		
	肉豚	出 荷 頭 数 (頭)		1,603	692	2,295	259	2,554	49.6	
		生 産 額 (千円)		81,587	35,163	116,750	9,928	126,678		
生 産 額 計 (千円)			1,800	81,587	35,163	118,550	103,813	222,363		
養鶏	肉用鶏	出 荷 羽 数 (羽)			2,000	2,000		2,000	3.0	
		生 産 額 (千円)			6,000	6,000		6,000		
	鶏卵	出 荷 量 (kg)	13,860		11,242	25,102		25,102	0.4	
		生 産 額 (千円)	7,800		1,500	9,300		9,300		
	廃鶏	出 荷 羽 数 (羽)	1,800			1,800		1,800	1.1	
		生 産 額 (千円)	2,000			2,000		2,000		
生 産 額 計 (千円)			9,800		7,500	17,300		17,300		
(千円)			2,420,548	2,330,276	1,115,497	5,866,321	400,357	6,266,678		

※鶏卵生産量については、個数からMS55g換算した推定量である。

(3) 市町別作付面積、生産額

区分	西之表市		中種子町		南種子町		屋久島町		熊毛計	
	作付面積 (ha)	生産額 (千円)	作付面積 (ha)	生産額 (千円)	作付面積 (ha)	生産額 (千円)	作付面積 (ha)	生産額 (千円)	作付面積 (ha)	生産額 (千円)
耕種部門計	1,740	3,640,884	2,242	3,661,315	1,246	1,734,932	526	925,329	5,754	9,962,460
畜産部門計	528	2,420,548	562	2,330,276	563	1,115,497	59	400,357	1,712	6,266,678
その他計	18		53		138		0		209	-
合計	2,286	6,061,432	2,857	5,991,591	1,947	2,850,429	585	1,325,686	7,676	16,229,138

※畜産部門の作付面積は、市町村別畜産統計書（飼料作物）の面積に造成採草地を加えた面積である。

その他は、さとうきび種苗用、さつまいも種苗用、自給用野菜、林産物等の面積で、生産額は不明である。

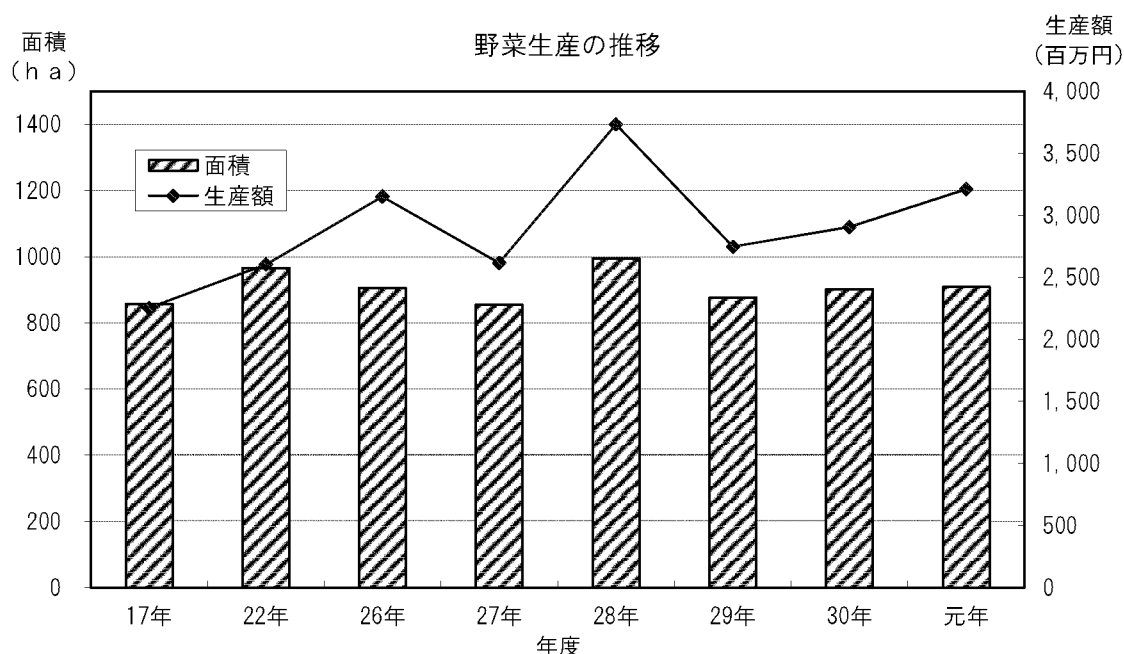
第3節 作物別生産の概況

1. 園芸の振興

(1) 野菜

熊毛地域の野菜は、全国的にも知名度の高い、青果用さつまいもの「安納いも」や、温暖な気候を生かした早春期の「ばれいしょ」を中心に産地化されているほか、種子島では「スナップえんどう」や「ブロッコリー」等、屋久島では「実えんどう」等が主に生産されている。

なお、各品目部会では積極的に「かごしまの農林水産物認証制度」に取り組み、安心・安全な野菜生産に努めている。



野菜生産の推移

単位：ha, 百万円

年度	面積	生産額
17年	858	2,255
22年	966	2,604
26年	906	3,151
27年	855	2,616
28年	995	3,733
29年	877	2,747
30年	902	2,906
元年	909	3,211

令和元年度市町別実績

単位：ha, 百万円

市町名	面積	生産額
西之表市	496	1,658
中種子町	259	1,126
南種子町	115	346
屋久島町	39	81
計	909	3,211

市町報告

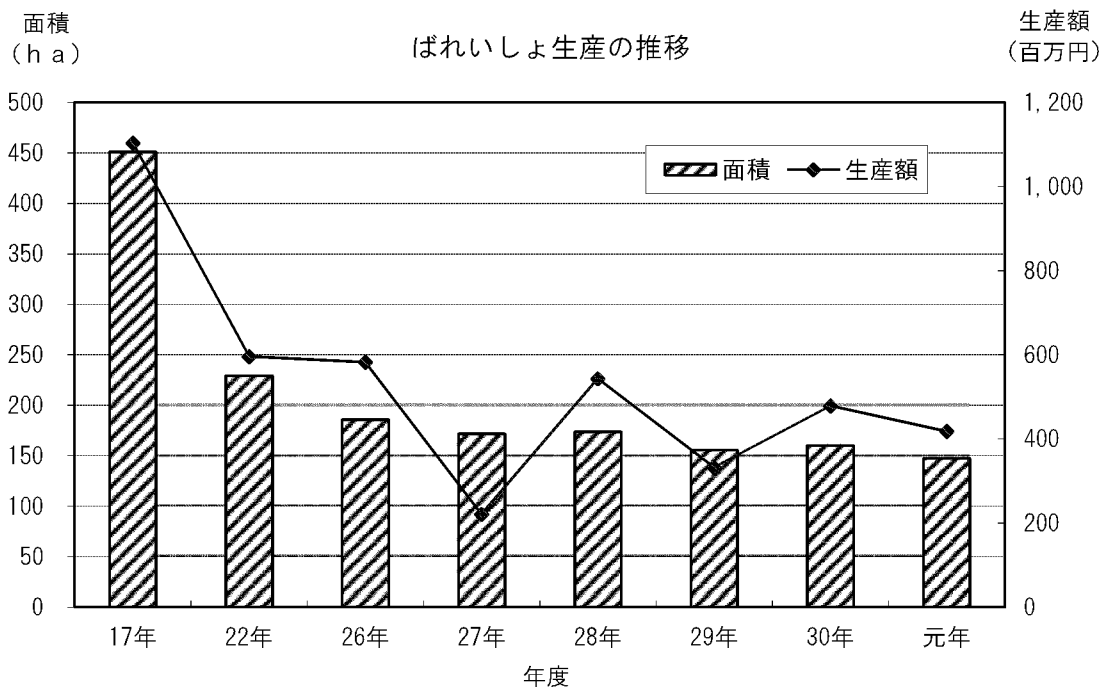
ア ばれいしょ

当地域の園芸作物の主力品目であり、鹿児島県産ばれいしょのリレー出荷（奄美～種子島～肝属～長島）の一産地を担っている。ばれいしょの作付面積は、平成17年度には約450haまで拡大したが、販売価格の下落や病害等の影響により減少している。

令和元年度は高温や雨天により疫病の発生が見られたほ場もあったが、適切な防除に加え、その他大きな気象災害もなく概ね順調に生育した。販売単価はこれまで安値が続いていたが、令和元年産は家庭内消費の増加により終始安定した販売単価となった。

管内全市町のJAばれいしょ部会は「かごしまの農林水産物認証制度」の認証を受けており、安心・安全なばれいしょ栽培に取り組んでいる。

なお、西之表市においては、地場産種いもの供給体制が整備され、優良種苗の確保に努めている。



ばれいしょ生産の推移

単位：ha, t, 百万円

年度	面積	生産量	生産額
17年	451	7,480	1,104
22年	229	4,906	596
26年	186	3,347	583
27年	172	1,546	221
28年	174	2,939	544
29年	155	3,178	333
30年	160	3,825	479
元年	147	2,813	418

令和元年度市町別実績

単位：ha, t, 百万円

市町名	面積	生産量	生産額
西之表市	83.5	1,856	284
中種子町	24.0	382	48
南種子町	13.7	170	22
屋久島町	26.0	405	63
計	147.2	2,813	418

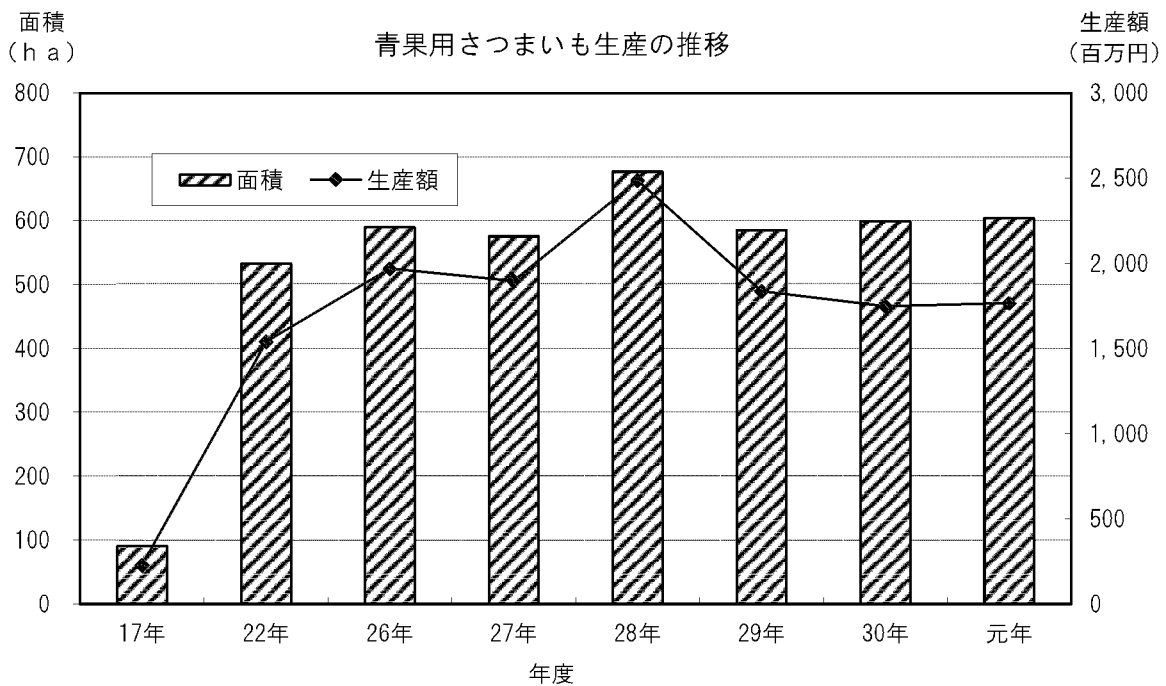
市町報告

イ 青果用さつまいも

近年、糖度の高さや食味の良さにより全国的に「安納いも」の知名度が高まっている。平成22年7月に「安納いもブランド推進本部」が設立され、品質基準の設定や品質管理のための糖度審査を行うなど、地域独自のブランド化に向け、島内一体となった組織的な取り組みがなされている。同ブランド本部は、平成25年6月7日に一般社団法人となり機能強化が図られた。

生産者は「かごしまの農林水産物認証制度」の認証を受け、消費者に信頼される産地づくりに努めている。

令和元年度は、台風被害やその他大きな気象災害もなく順調に生育した。一部のほ場でサツマイモ基腐病の発生が確認された。



青果用さつまいも生産の推移

単位：ha, t, 百万円

年度	面積	生産量	生産額
17年	91	1,394	228
22年	533	8,559	1,540
26年	590	10,895	1,969
27年	576	10,180	1,897
28年	677	15,550	2,486
29年	585	10,093	1,837
30年	599	10,876	1,749
元年	604	11,487	1,766

令和元年度市町別実績

単位：ha, t, 百万円

市町名	面積	生産量	生産額
西之表市	355.6	7,524	1,137
中種子町	153.2	2,413	369
南種子町	90.3	1,500	257
屋久島町	5.0	50	4
計	604.1	11,487	1,766

市町報告

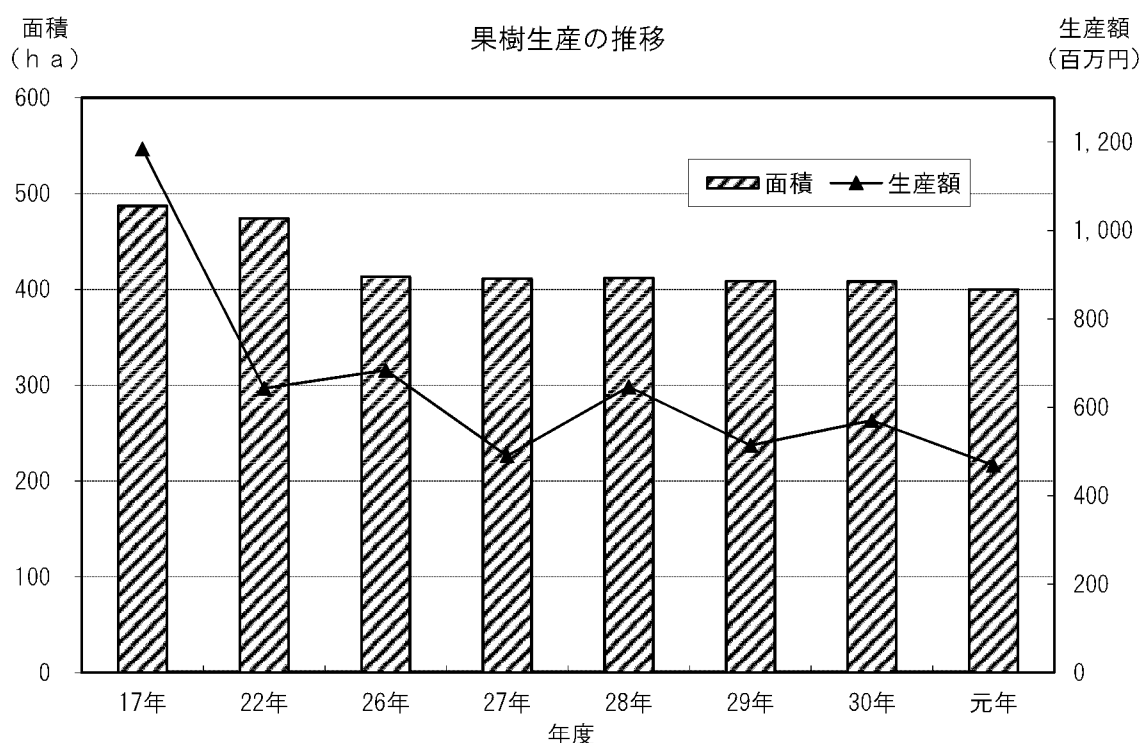
(2) 果 樹

温暖な気候を活かし、屋久島を中心に、ぼんかん、たんかんの産地化が図られているほか、種子島を中心にマンゴー、パッションフルーツの導入も行われており、産地の有利性を発揮できる品目の生産が行われている。

屋久島のたんかんと種子島のマンゴーは、それぞれの出荷販売を行う種子屋久農業協同組合が、かごしまブランド産品「かごしまのたんかん」及び「かごしまのマンゴー」の構成団体として認定を受けている。

※「かごしまのたんかん」平成30年度団体認定（屋久島）

「かごしまのマンゴー」平成30年度団体認定（中種子，南種子）



果樹生産の推移

単位：ha, t, 百万円

年度	面積	生産量	生産額
17年	487	3,889	1,184
22年	474	2,342	643
26年	413	1,515	684
27年	411	1,195	490
28年	412	2,405	646
29年	409	1,322	514
30年	408	1,720	571
元年	400	1,225	469

令和元年度市町別実績

単位：ha, t, 百万円

市町名	面積	生産量	生産額
西之表市	1.1	10	17
中種子町	13.8	55	24
南種子町	27.5	125	41
屋久島町	357.6	1,035	387
計	400.0	1,225	469

市町報告

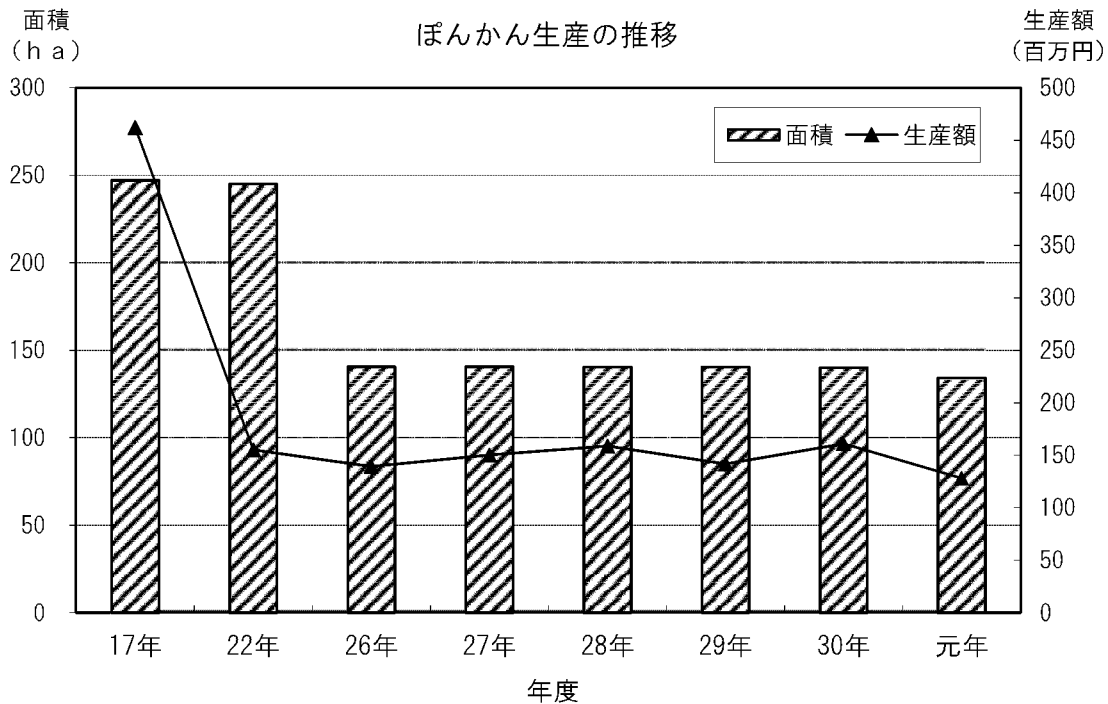
ア ぼんかん

屋久島のぼんかんは、大正13年に黒葛原兼成（つづらはらかねなり）氏により導入（同氏は昭和11年に下屋久村村長となる）され、現在では年末の贈答用として需要がある。

しかし、年内販売主体で販売期間が短く、出荷時期が集中することや、たんかんへの転換等により、平成24年度に約250haあった栽培面積は、今年度に140haを下回った。

令和元年産は台風の襲来もなく順調に生育したが、栽培面積の減少等に伴い生産量は減少した。

地域の特産物のぼんかんは、高品質生産を目指して、す上がりや水腐れの少ない優良品種への転換を進めることにしている。



ぼんかん生産の推移

単位：ha, t, 百万円

年度	面積	生産量	生産額
17年	247	1,718	462
22年	245	850	155
26年	141	287	139
27年	141	439	150
28年	140	650	159
29年	141	415	142
30年	140	515	161
元年	134	371	128

令和元年度市町別実績

単位：ha, t, 百万円

市町名	面積	生産量	生産額
西之表市	0.0	0	0
中種子町	1.4	5	1
南種子町	17.9	68	19
屋久島町	115.0	299	107
計	134.3	371	128

市町報告

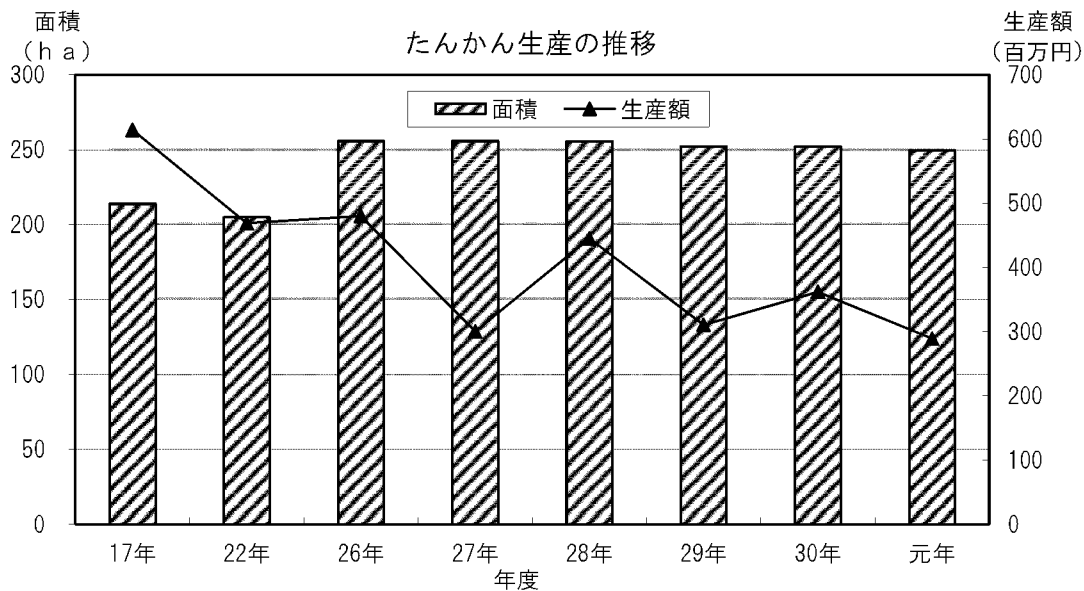
イ たんかん

屋久島のたんかんは、県内で最初に導入された光センサーによる選果により、高品質な果実の厳選と計画出荷に努めている。また、平成19年度に「かごしまブランド産地」として指定を受け、新制度ではその出荷販売を行う種子屋久農業協同組合が、かごしまブランド産品「かごしまのたんかん」の構成団体として認定を受けている。

令和元年産は台風の襲来がなく順調に生育したが、屋久島北部では、出荷前に口永良部島新岳の噴火による降灰があり、汚損の果実が確認された。

なお、種子屋久農協（屋久島）では、オリジナルブランド「おひさまのほっぺ」（糖度11度以上，クエン酸1%以下，赤秀，L以上の基準を満たしたもの）を商標登録している。

また、平成18年から「かごしまの農林水産物認証制度」の認証を受け、安心・安全で消費者に信頼される産地づくりにも努めている。



たんかん生産の推移

単位：ha, t, 百万円

年度	面積	生産量	生産額
17年	214	938	614
22年	205	1,331	469
26年	256	1,177	480
27年	256	719	301
28年	256	1,717	445
29年	252	847	311
30年	252	1,158	362
元年	250	812	289

令和元年度市町別実績

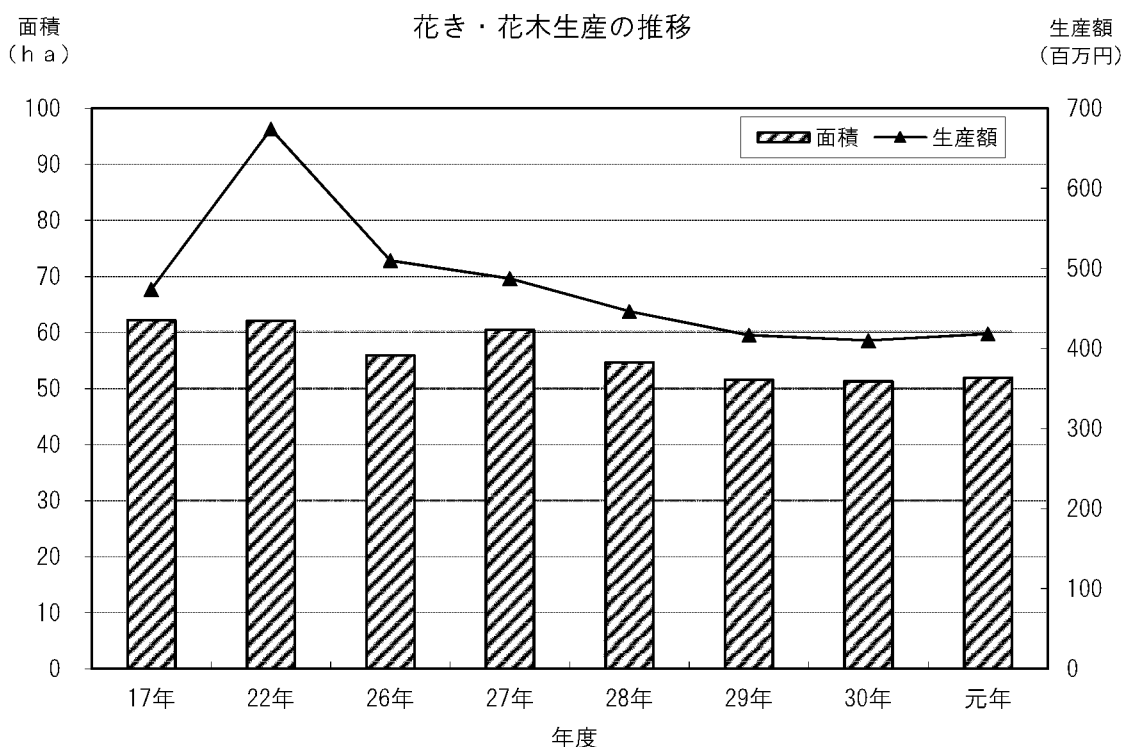
単位：ha, t, 百万円

市町名	面積	生産量	生産額
西之表市	0.1	0	0
中種子町	11.2	44	12
南種子町	8.4	53	16
屋久島町	230.0	715	261
計	249.7	812	289

市町報告

(3) 花き・花木

花きは、温暖な気象条件を生かし、かごしまブランド品目であるレザーリーフファンのほか、フェニックス・ロベレニー、ドラセナ等の葉物類、フリージア等の球根類、スプレーギク等の切り花類が生産されている。また、近年シキミやヒサカキ等の枝物類の花木の生産が拡大している。



花き・花木生産の推移

単位：ha, 百万円

年度	面積	生産額
17年	62	474
22年	62	674
26年	56	510
27年	61	487
28年	55	446
29年	52	416
30年	51	410
元年	52	418

令和元年度市町別実績

単位：ha, 百万円

市町名	面積	生産額
西之表市	18.9	154
中種子町	7.9	61
南種子町	21.6	181
屋久島町	3.6	22
計	52.0	418

市町報告

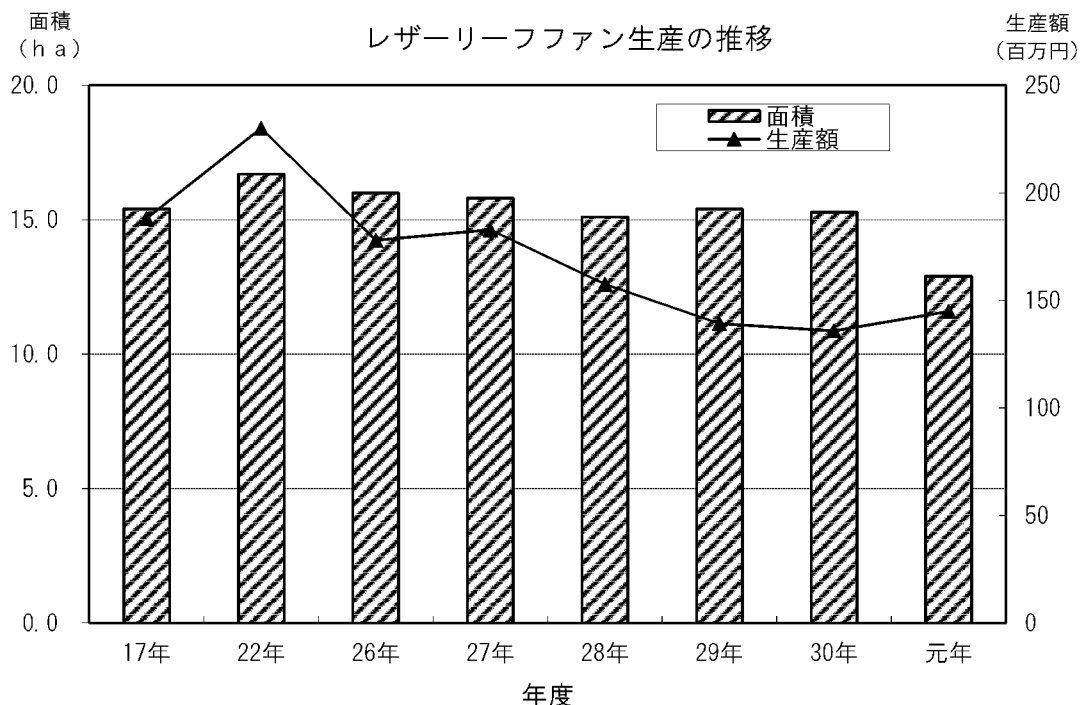
ア レザーリーフファン

種子島の温暖な気候と土壌に適する品目として、昭和60年度に導入され、現在では、栽培面積、生産量ともに全国一の産地となった。京浜、中京、九州、県内の市場等に出荷され、日持ちや選別が良いことから評価が高い。

「種子島のレザーリーフファン」は、平成18年度に花き部門としては第1号の「かごしまブランド産地」として指定され、新制度ではその出荷販売を行う種子屋久農業協同組合がかごしまブランド産品「かごしまのレザーリーフファン」の構成団体として認定を受けている。

平成元年産は生産面積が減少したものの、台風による被害がほとんどなく順調に生育したため、生産量は昨年を上回った。価格も安定したため生産額も昨年を上回った。

産地の課題としては、需要の多い冬期の出荷量が少ないことや、植栽年数の長いほ場において収量及び秀品率の低下等があることから、関係機関が一体となって産地体制の強化に取り組んでいる。



レザーリーフファン生産の推移

単位：ha, 百万円

年度	面積	生産額
17年	15.4	188
22年	16.7	230
26年	16.0	178
27年	15.8	183
28年	15.1	157
29年	15.4	139
30年	15.3	136
元年	12.9	145

令和元年度市町別実績

単位：ha, 百万円

市町名	面積	生産額
西之表市	0.8	4.8
中種子町	4.0	52.9
南種子町	8.1	87.2
屋久島町	—	—
計	12.9	144.9

市町報告

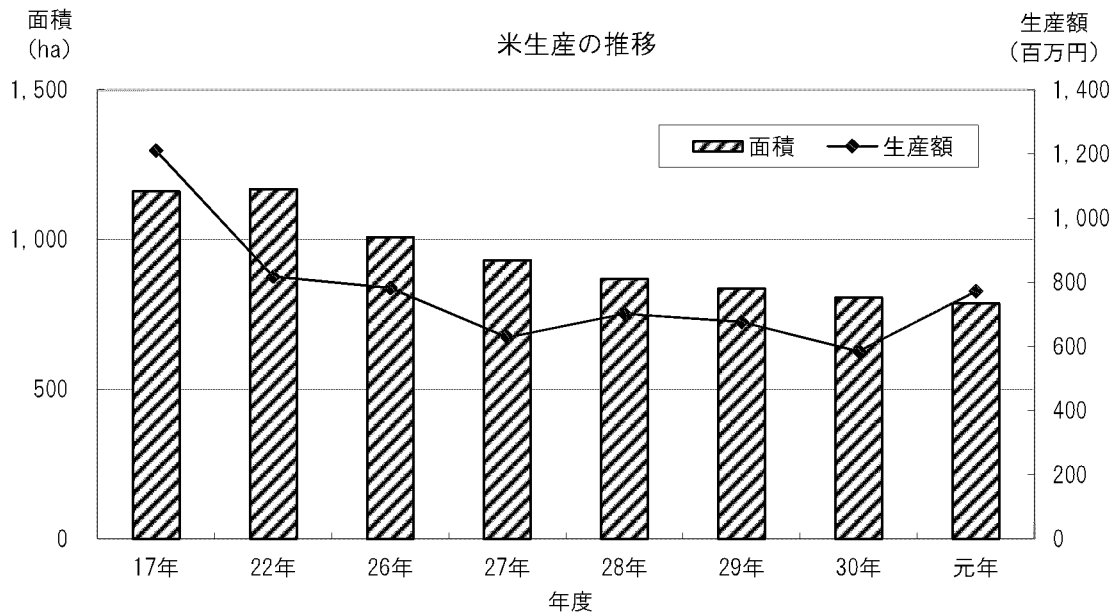
2. 地域特産物

(1) 米

当地区の水稲は、全て早期水稲である。例年、7月中～下旬には出荷が始まり、「日本一早いコシヒカリ」の産地として銘柄確立を図るため、品質向上と安心・安全な米づくりに取り組んでいる。

令和元年度の作付面積は、主食用米以外のWCS等の作付が拡大したため、前年度より19ha少ない787haであった。

生育状況は、出穂期以降、低温・日照不足で経過したことから、登熟が「やや不良」となり、平年を下回る作況となった（作況指数98）。



米の生産の推移

単位：ha, t, 百万円

年	面積	生産量	生産額
17年	1,160	5,090	1,210
22年	1,168	4,710	818
26年	1,007	4,183	782
27年	930	3,310	628
28年	868	3,567	702
29年	836	3,416	676
30年	806	3,335	585
元年	787	3,285	772

令和元年市町別実績

単位：ha, t, 百万円

市町名	面積	生産量	生産額
西之表市	207	887	227
中種子町	254	1,073	216
南種子町	308	1,256	312
屋久島町	18	69	16
計	787	3,285	772

市町報告

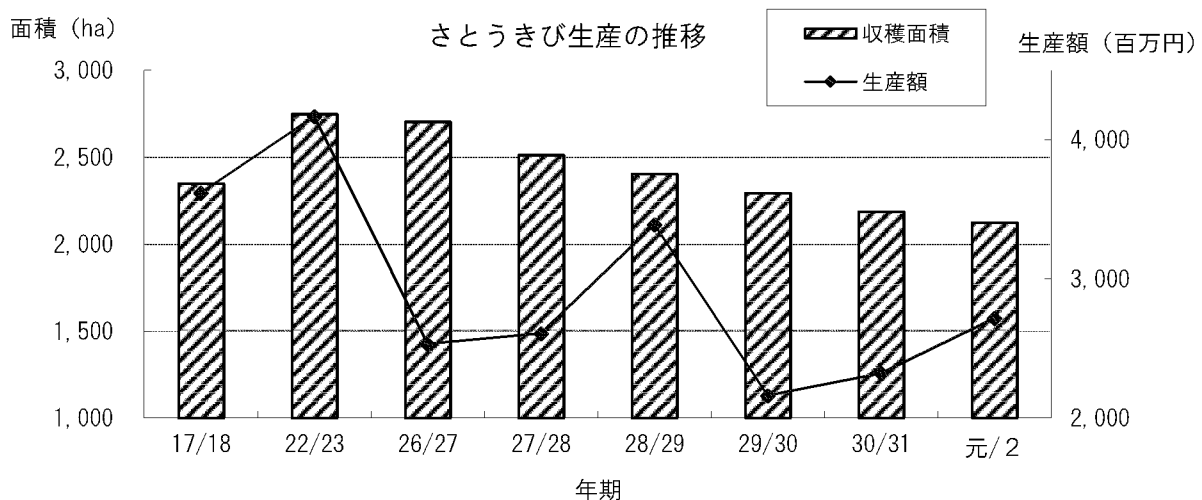
(2) さとうきび

令和元／2 年期のさとうきび生産については、収穫面積が前年より62ha減少し、2,125ha（前年比97.2%）となった。

生育概況については、台風8号及び10号による倒伏、葉部裂傷等の被害があったものの被害は少なく、生育は順調であった。

生産実績については、生産量129,904 t（前年比113.0%）で、単収6,113kg（前年比116.3%）となった。

原料買入甘蔗糖度は、平均13.03度（前年度12.40度）で、基準糖度帯未満（13.1度未満）が51.9%（前年度74.0%）で、基準糖度帯以上は8.6%（前年度4.7%）と前年を上回り、歩留は11.15%（前年度10.81%）であった。



さとうきび生産の推移

単位：ha, t, 百万円

年期	収穫面積	生産量	生産額
17/18	2,349	188,665	3,619
22/23	2,749	197,917	4,170
26/27	2,705	141,641	2,534
27/28	2,513	125,292	2,609
28/29	2,404	158,582	3,392
29/30	2,294	116,708	2,163
30/31	2,187	114,954	2,321
元/2	2,125	129,904	2,717

元/2 年期さとうきびの市町別内訳

単位：ha, t, 百万円

市町名	収穫面積	生産量	生産額
西之表市	551	32,587	684
中種子町	1,139	74,254	1,550
南種子町	435	23,063	482
計	2,125	129,904	2,717

市町報告

令和元／2 年期原料の品質状況

項目 市町村	受入数量 (t)	甘蔗糖度階層別内訳 (%)			甘蔗糖度		
		基準帯未満	基準帯糖度	基準帯以上	最高	最低	平均
西之表市	32,216	40.6	44.4	15.0	17.1	9.7	13.30
中種子町	74,114	55.3	38.2	6.5	17.1	8.0	12.95
南種子町	23,063	56.9	36.7	6.4	17.0	10.0	12.92
計	129,393	51.9	39.5	8.6	17.1	8.0	13.03

※合計の欄は、端数処理により必ずしも一致しない。

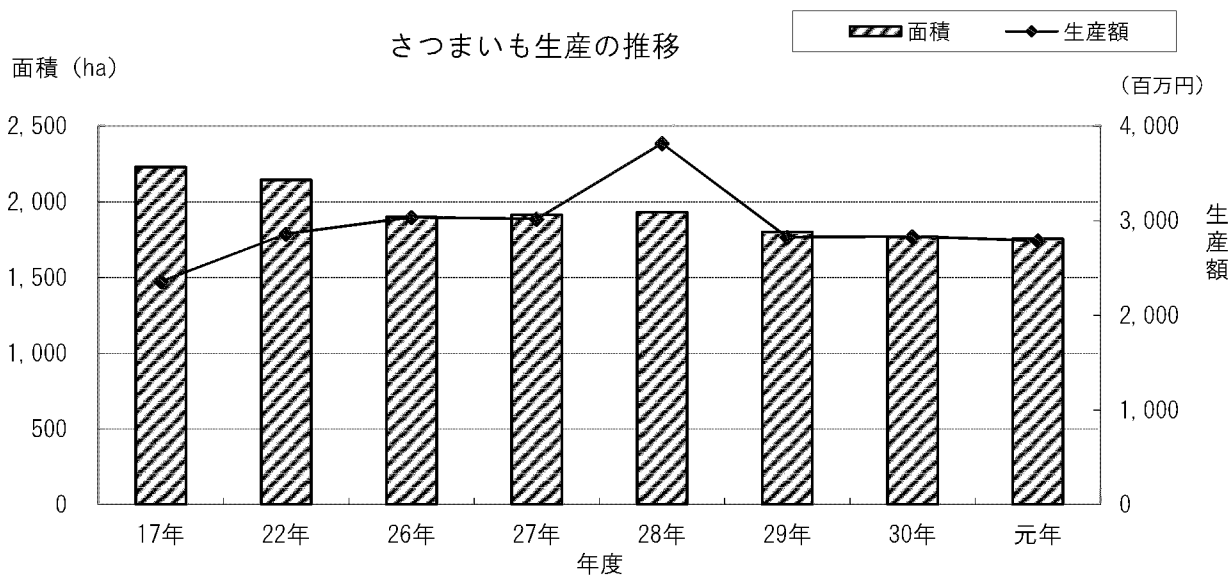
新光糖業報告

(3) さつまいも

さつまいもの作付面積は、前年度より13ha少ない1,756haであった。

平成30年度は、例年より台風被害が少なく、単収は2,235kg/10a(対前年比107.4%)、生産量は39,255t(前年比106.7%)とやや多くなった。

うち、でん粉原料用さつまいもの生産量は26,109t(前年比108.5%)で、すべて種子島内の4工場で処理されたが、工場の操業率は35.6%と低い水準となった。



さつまいも生産の推移

単位: ha, t, 百万円

年度	面積	生産量	生産額
17年	2,230	62,795	2,359
22年	2,145	44,546	2,859
26年	1,900	38,038	3,036
27年	1,914	39,729	3,019
28年	1,931	49,333	3,816
29年	1,800	35,874	2,825
30年	1,769	36,805	2,833
元年	1,756	39,255	2,788

令和元年度市町別実績

単位: ha, t, 百万円

市町名	面積	生産量	生産額
西之表市	686	14,701	1,416
中種子町	668	16,105	857
南種子町	384	8,248	496
屋久島町	18	202	19
計	1,756	39,255	2,788

市町報告

用途別さつまいも生産量の推移

単位: t, %

用途	29年	30年	元年
でん粉原料用	23,845	24,057	26,109
焼酎原料用	1,936	1,872	1,658
青果用※	10,093	10,876	11,488
合計	35,874	36,805	39,255
でん粉用割合	66.5	65.4	66.5
焼酎用割合	5.4	5.1	4.2

※ 青果用には加工食品用, 飼料用, 種子用, 自家食用を含む

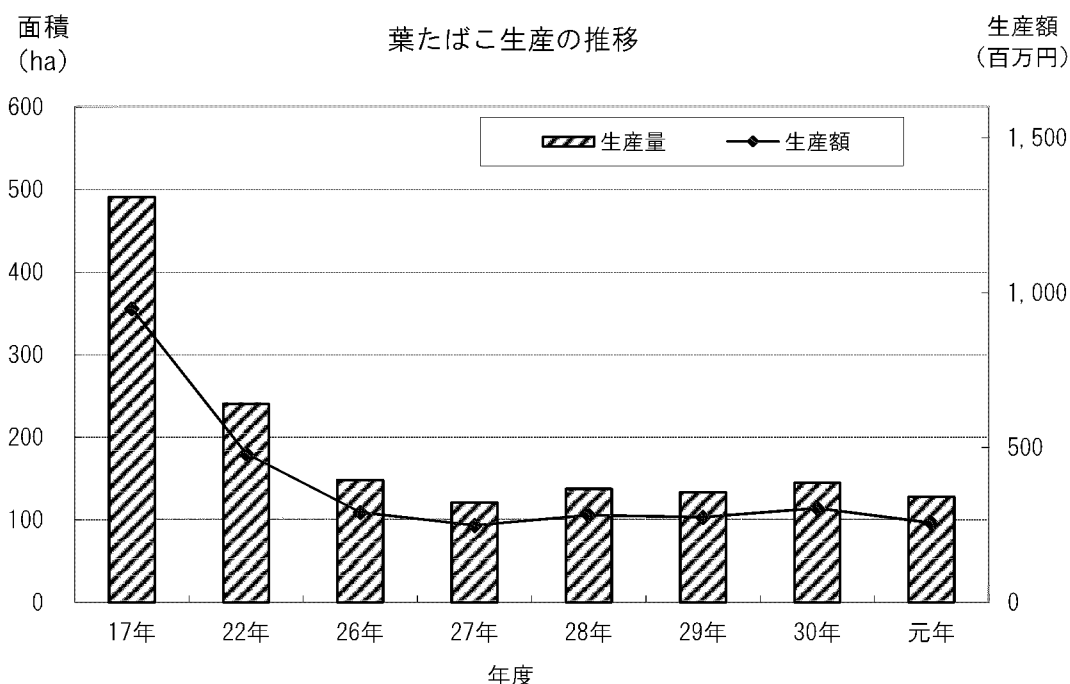
※ 市町報告

(4) 葉たばこ

令和元年産の葉たばこの栽培面積は51.9ha(対前年比95.0%)，生産量は127.8t(同88.2%)，耕作者数は1名減の30名であった。

作柄は中柄主体で，着葉数及び収穫葉数は平年並みとなった。収穫最盛期に断続的な降雨で一部冠水したほ場もあったが全体的な収穫作業は概ねロスなく実施された。品質は熟度不足等見られたが，全体的には熟度，組織ともに良質のものが生産された。

種子島島内の葉たばこ生産実績は単収が246kg/10a(対前年比92.8%)，10a当たりの生産額が496千円(同89.3%)で，1kg当たりの単価が2,015円(同95.7%)と前年を下回りはしたものの，県内では3番目の高単価だった。



葉たばこ生産の推移

単位：ha, t, 百万円

年度	面積	生産量	生産額
17年	190	491	949
22年	134	240	481
26年	61	148	291
27年	59	121	249
28年	58	137	281
29年	56	133	276
30年	55	145	305
元年	52	128	257

県たばこ耕作組合集計

令和元年度市町別実績

単位：ha, t, 百万円

市町名	面積	生産量	生産額
西之表市	13.5	33.4	66
中種子町	29.0	68.1	140
南種子町	9.4	26.3	51
計	51.9	127.8	257

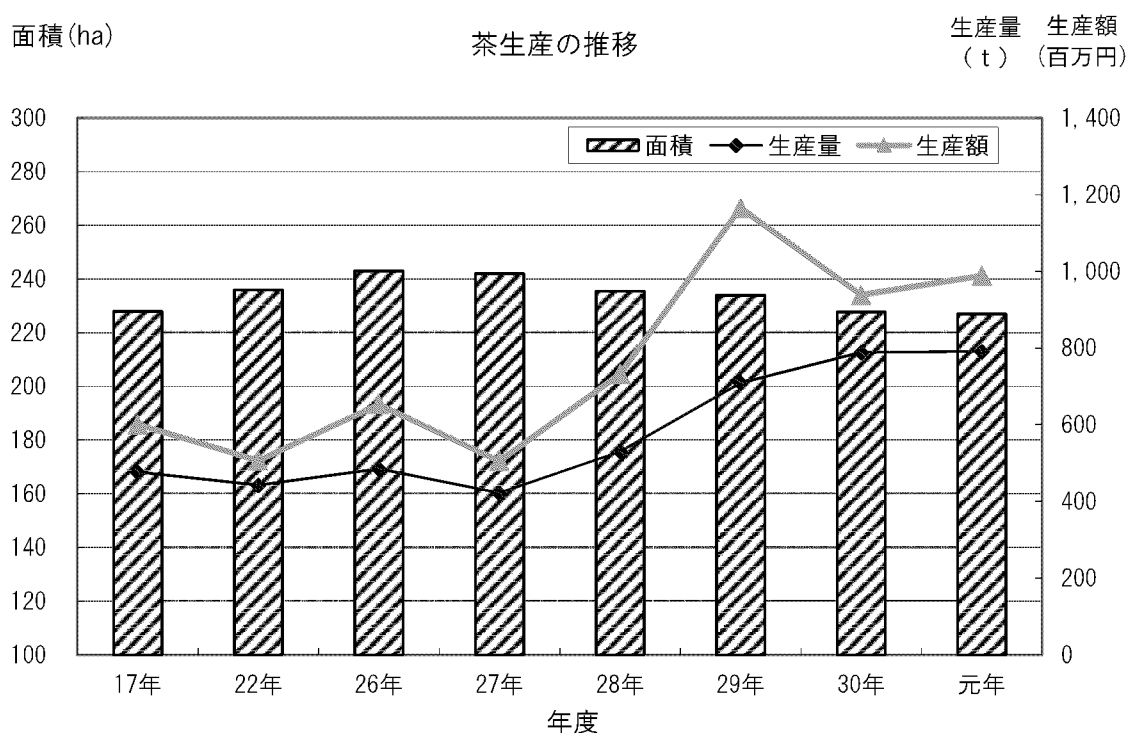
県たばこ耕作組合集計

(5) 茶

温暖な気候条件を生かした「日本一早い走り新茶の産地」としての銘柄向上を図るため、品質向上に取り組むとともに、販路拡大を図るため、GAP取得工場の記帳支援や有機JAS認証取得など消費者ニーズに応じた高品質で安心・安全な茶づくりを推進している。

令和元年産は、一番茶の生育は例年より早く、摘採開始は前年より1日程度早かったが、3月下旬以降の低温により、その後の摘採は昨年と比べ5～7日程度遅れた摘採となった。市場価格が低調で量を確保したため、一番茶の生産量は201t(前年比98%)となった。二番茶以降も天候に恵まれ生育は順調で、荒茶生産量は791t(前年比100%)となった。生産額は988百万円(同105%)と前年に比べてやや増加した。

栽培面積は近年減少しており、優良品種への新植・改植が進められている。



茶生産の推移

単位：ha, t, 百万円

年度	面積	生産量	生産額
17年	228	477	600
22年	236	443	506
26年	243	485	653
27年	242	422	505
28年	236	530	732
29年	234	709	1,165
30年	228	789	939
元年	227	791	988

令和元年度市町別実績

単位：ha, t, 百万円

市町名	面積	生産量	生産額
西之表市	98	417	511
中種子町	22	57	50
南種子町	20	29	40
屋久島町	88	288	388
計	227	791	988

市町報告

3. 畜産

※ H26数字は、公表数字ではないので注意をお願いします

(1) 振興対策

熊毛地域は、子牛生産を中心とした肉用牛、大規模化が進んだ酪農、肉質の優れた黒豚を主体とする養豚及び島内消費向けの採卵鶏など畜産が盛んな地域である。

肉用牛については、専門化が進んでいるものの、さとうきびやさつまいもなどとの中小規模の複合経営が主体の子牛生産地域である。子牛生産地域としての地位を守るため、生産基盤の維持拡大のために、産肉能力の優れた優良繁殖雌牛の自家保留・導入を推進するとともに、低コスト生産体制を強化するために、土地基盤に立脚した経営体の育成を図っている。

乳用牛については、需要の動向に見合った計画生産を基本として、土地基盤に立脚した経営体の育成、高泌乳牛群の造成、飼養管理技術の向上による経営の安定向上を図っている。

豚については、環境と調和した飼養環境づくりと併せて、飼養管理技術の向上を図っている。

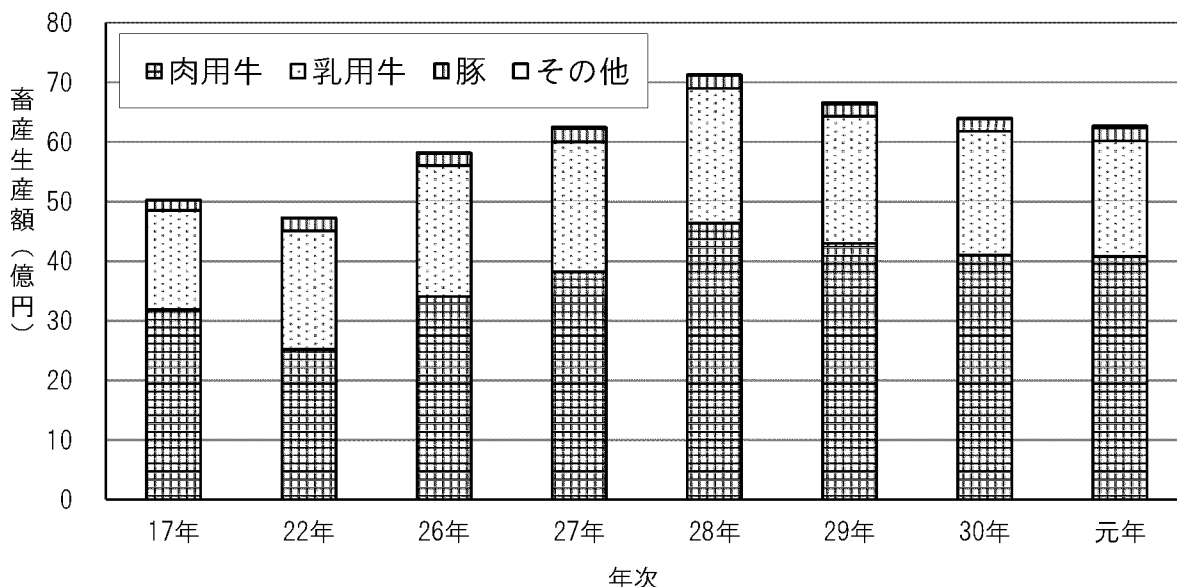
また、草地開発や農地の有効利用による飼料作物の作付面積の拡大を図るとともに、さとうきび副産物、でん粉粕やさつまいも茎葉等の低・未利用資源の活用も推進しながら、飼料自給率の向上を図っている。

(2) 畜産の生産額

令和元年の畜産生産額は子牛価格、乳量が前年より低下減少したことで、6,267百万円（対前年比97.8%）と低下し、熊毛地域農業生産額全体に占める割合は約39%となった。

また、畜産生産額のうち、肉用牛が全体の約65%、次に乳用牛が約31%で、併せて全体の約96%を占めている。

畜産生産額の推移



畜産生産額の推移

単位：億円

区分	17年	22年	26年	27年	28年	29年	30年	元年
肉用牛	31.9	25.2	34.1	38.2	46.4	43.0	41.0	40.8
乳用牛	16.6	19.9	22.0	21.8	22.6	21.3	20.8	19.4
豚	1.7	2.1	2.0	2.3	2.2	2.0	2.1	2.2
その他	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.3	0.1	0.3
合計	50.3	47.3	58.2	62.5	71.3	66.6	64.1	62.7

注1) 平成17年は九州農政局鹿児島農政事務所「鹿児島県生産農業所得統計」

注2) 平成22年以降は熊毛支庁調べ

(3) 肉用牛

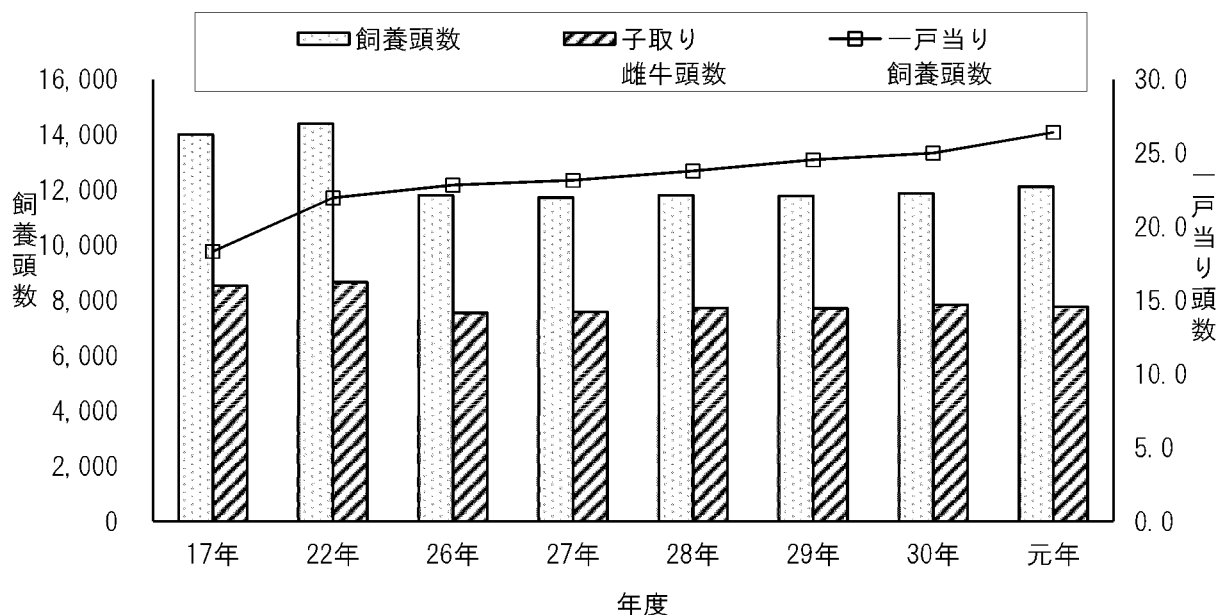
ア 飼養動向

令和元年度の飼養戸数は、459戸（対前年比96.6%）と年々減少傾向にある。

飼養頭数は、平成21年度をピークに減少傾向にあったが、平成28年度は微増に転じ、その後ほぼ横ばいで推移している。令和元年度は12,120頭（同102%）で前年に比べて微増した。

子牛生産では、曾於、肝属、大島、始良、薩摩に次ぐ県内6番目の産地であり、1戸当たりの飼養規模は肉用牛全体で26.4頭（同106.5%）となっており、規模拡大が進んでいる。

肉用牛飼養頭数の推移



肉用牛飼養戸数と飼養頭数の推移

単位：戸・頭数

年度	農家戸数	飼養頭数	子取り雌牛頭数	一戸当り飼養頭数	一戸当り飼養頭数(県)
17年	764	14,000	8,540	18.3	23.4
22年	656	14,400	8,670	22.0	30.3
26年	517	11,800	7,553	22.8	35.9
27年	506	11,720	7,586	23.2	37.1
28年	496	11,800	7,730	23.8	38.5
29年	480	11,780	7,720	24.5	41.2
30年	475	11,880	7,840	25.0	44.1
元年	459	12,120	7,780	26.4	46.5

注1) 平成17年度は九州農政局鹿児島農政事務所「畜産統計」

注2) 平成22年度以降は鹿児島県畜産課調べ、熊毛支庁調べ

市町別飼養戸数と飼養頭数

単位：戸・頭数

区分	農家戸数	飼養頭数	子取り雌牛頭数	一戸当り飼養頭数
西之表市	192	3,990	2,580	20.8
中種子町	163	4,490	2,900	27.5
南種子町	83	2,780	1,780	33.5
屋久島町	21	860	520	41.0
計	459	12,120	7,780	26.4

注) 熊毛支庁調べ(令和2年2月1日現在)

イ 子牛価格

※ H26数字は、公表数字ではないので注意をお願いします

子牛価格は、平成13年9月のBSE発生により急落したものの、平成14年10月から急速に回復し平成19年度まで堅調に推移した。

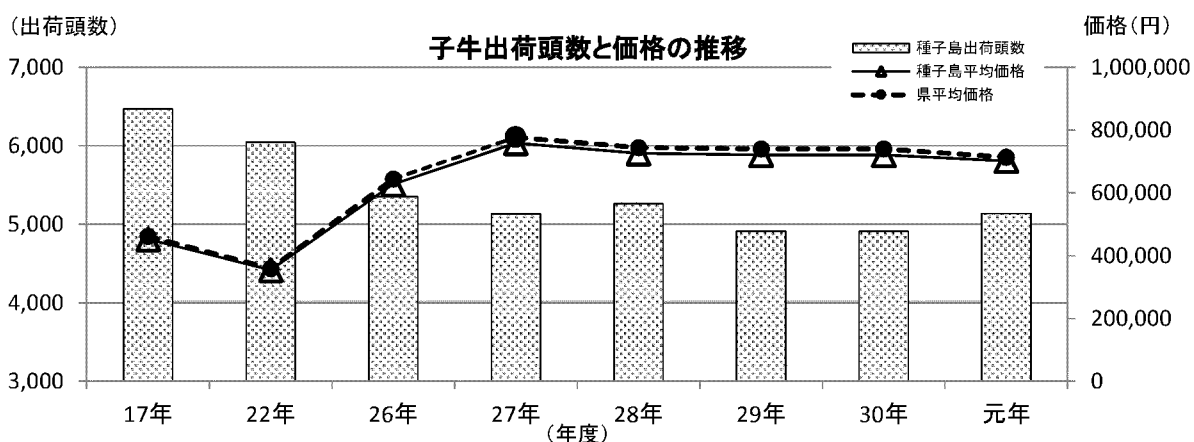
その後、景気低迷による牛肉の消費の落ち込みなどから、子牛価格は下がり、さらに平成22年4月に宮崎県で発生した口蹄疫により、家畜等の移動や出荷が制限されたため、子牛価格も大きな影響を受けた。

平成25年度以降は、子牛価格は回復・上昇し、平成28年度にピークとなった。

平成29年度以降やや低下したものの、令和元年度の種子島家畜市場は701千円（前年度比97.4%）、県平均価格は713千円（同96.4%）と堅調な相場が継続している。

当市場は、地理的に不利な離島の子牛市場であるが、購買者への運賃助成や輸送事故補償制度を実施するとともに、日齢が若く、かつ良好な発育をした品質の高い子牛を上場していることから、購買者の評価が高く、県内本土市場との価格差はなくなっている。

なお、平成19年から屋久島市場を休止、平成25年から口永良部市場も休止し、現在は全頭が種子島家畜市場へ上場されている。



子牛価格（売却）の年度別推移

単位：円（税抜）

市場名	年度	17年	22年	26年	27年	28年	29年	30年	元年
種子島	雌	413,448	323,803	481,445	580,972	705,281	660,777	654,074	637,172
	去勢	488,837	380,535	548,429	665,640	803,703	775,124	772,941	750,249
	平均	452,255	354,251	518,442	627,544	758,540	725,848	720,781	701,722
屋久島	雌	366,531	※種子島に実績が含まれる。						
	去勢	470,358	※種子島に実績が含まれる。						
	平均	413,616	※種子島に実績が含まれる。						
口永良部	雌	275,485	※種子島に実績が含まれる。						
	雌（去勢）	255,717	※種子島に実績が含まれる。						
	平均	265,963	※種子島に実績が含まれる。						
県平均	雌	422,510	325,163	494,708	598,415	719,992	681,167	677,540	652,868
	去勢	498,901	387,880	568,716	681,792	823,303	794,915	788,124	758,438
	平均	461,561	359,399	535,621	644,162	776,743	744,352	739,972	713,008

注1) 子牛価格はJA種子屋久、経済連、県畜産課資料

注2) 平成22年以降の屋久島市場、口永良部市場は種子島市場に含む

注3) 平均は雌を含む

子牛出荷頭数（売却）の推移

（単位：頭）

市場名	年度	17年	22年	26年	27年	28年	29年	30年	元年
種子島	雌	3,143	2,800	2,549	2,409	2,354	2,268	2,155	2,205
	去勢	3,327	3,245	3,166	2,945	2,776	2,995	2,756	2,933
	合計	6,470	6,045	5,717	5,354	5,130	5,263	4,911	5,138
屋久島	雌	146	※種子島に実績が含まれる。						
	去勢	131	※種子島に実績が含まれる。						
	合計	277	※種子島に実績が含まれる。						
口永良部	雌	99	※種子島に実績が含まれる。						
	雌（去勢）	92	※種子島に実績が含まれる。						
	合計	191	※種子島に実績が含まれる。						
合計	雌	3,289	2,800	2,549	2,409	2,354	2,268	2,155	2,205
	去勢	3,458	3,245	3,166	2,945	2,776	2,995	2,756	2,933
	合計	6,747	6,045	5,717	5,354	5,130	5,263	4,911	5,138

注1) 子牛売却頭数はJA種子屋久、経済連、県畜産課資料

注2) 平成22年以降の屋久島市場、口永良部市場は種子島市場に含む

注3) 合計は雌を含む

(4) 乳用牛

ア 飼養動向

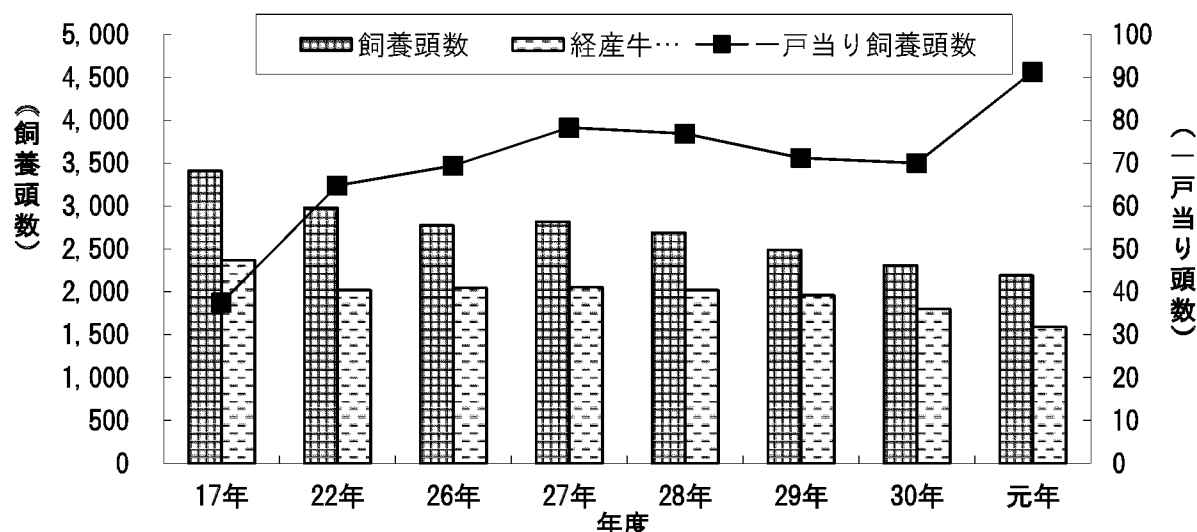
令和元年度の飼養戸数は育成農家を含め24戸で、飼養頭数は2,190頭（対前年比94.8%）、うち経産牛は1,590頭（同 88.3%）となり、前年より減少し、1戸当りの飼養頭数は91.3頭（同 130.4%）となった。

地域の特徴として、これまで育成牛のみ飼養する経営体も多かったが、高齢化などの理由により減少してきている。

一方、搾乳する経営体では規模拡大傾向にあるものの、導入牛の高値推移や離農等により、平成27年度以降の頭数は減少しているが、飼養頭数は肝属地域に次ぎ、県内2番目の頭数規模を維持している。

なお、屋久島町（旧上屋久町）では平成11年12月に1牧場が廃止され、乳用牛は飼養されていない。

乳用牛の飼養頭数の推移



飼養戸数と飼養頭数の推移

単位：戸・頭数

年度	農家戸数		飼養頭数	一戸当り飼養頭数	経産牛頭数
	うち育成のみ				
17年	91	15	3,410	37.5	2,370
22年	46	12	2,980	64.8	2,020
26年	40	10	2,776	69.4	2,045
27年	36	10	2,817	78.3	2,053
28年	35	10	2,690	76.9	2,020
29年	35	10	2,490	71.1	1,960
30年	33	5	2,310	70.0	1,800
元年	24	3	2,190	91.3	1,590

注1) 平成17年まで九州農政局鹿児島農政事務所「畜産統計」

注2) 平成22年以降鹿児島県畜産課調べ、熊毛支庁調べ

市町別飼養戸数と飼養頭数

単位：戸・頭数

区分	農家戸数	飼養頭数	経産牛頭数	一戸当り飼養頭数
西之表市	16	1,090	850	68.1
中種子町	7	X	X	X
南種子町	1	X	X	X
計	24	2,190	1,590	91.3

注1) 熊毛支庁調べ (R2.2.1)

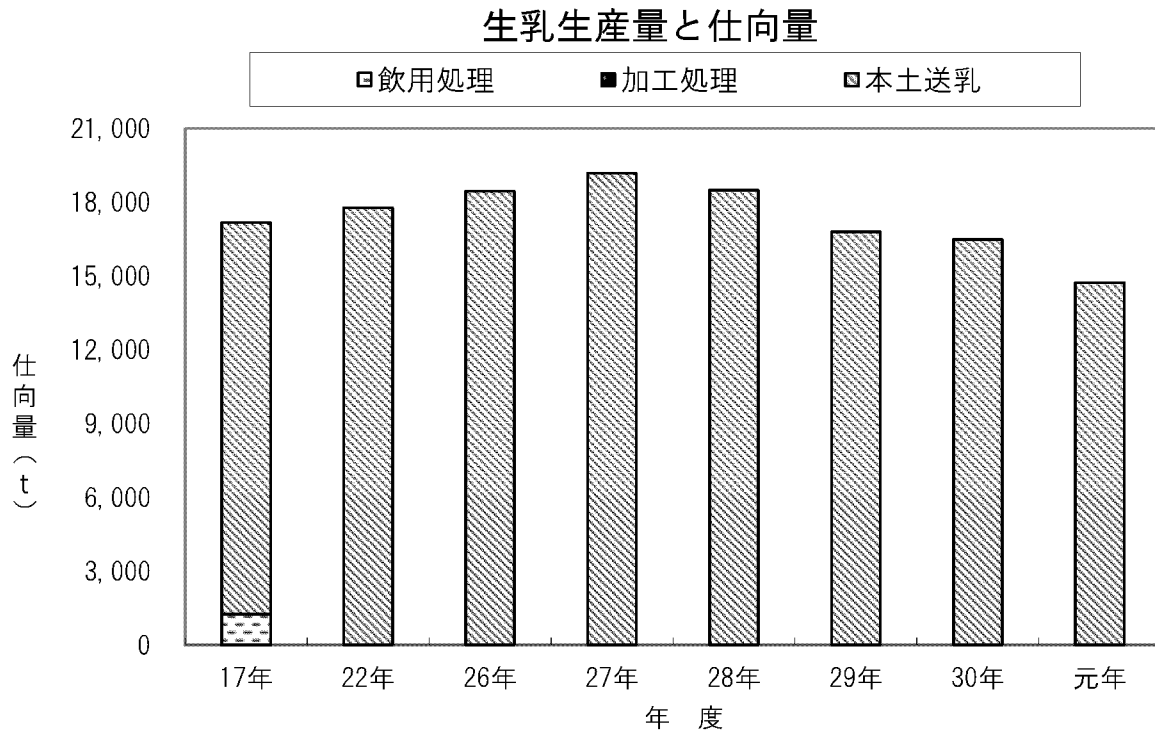
注2) X: 秘密保護上公表しないもの

イ 生乳生産量と処理仕向割合の推移

令和元年度の生乳生産量は14,732 t（対前年比89.3%）となっており、平成27年度から、やや減少傾向にある。

平成17年度まで種子島工場において、一部の生乳を飲用・加工処理していたが、平成18年以降は都城工場で飲用・加工処理を行っており、生乳は全量が本土送乳となっている。

（注） 屋久島工場は平成11年12月に閉鎖。
種子島工場は平成18年以降処理加工していない。



生乳生産量と処理仕向割合の推移

単位：t

年 度	生産量	飲用処理	加工処理	本土送乳
17年	17,184	1,247	18	15,919
22年	17,776	0	0	17,776
26年	18,461	0	0	18,461
27年	19,189	0	0	19,189
28年	18,499	0	0	18,499
29年	16,805	0	0	16,805
30年	16,494	0	0	16,494
元年	14,732	0	0	14,732

注1) 生産量(販売乳量)は各市町調べ(県酪農協種子島支所)デー

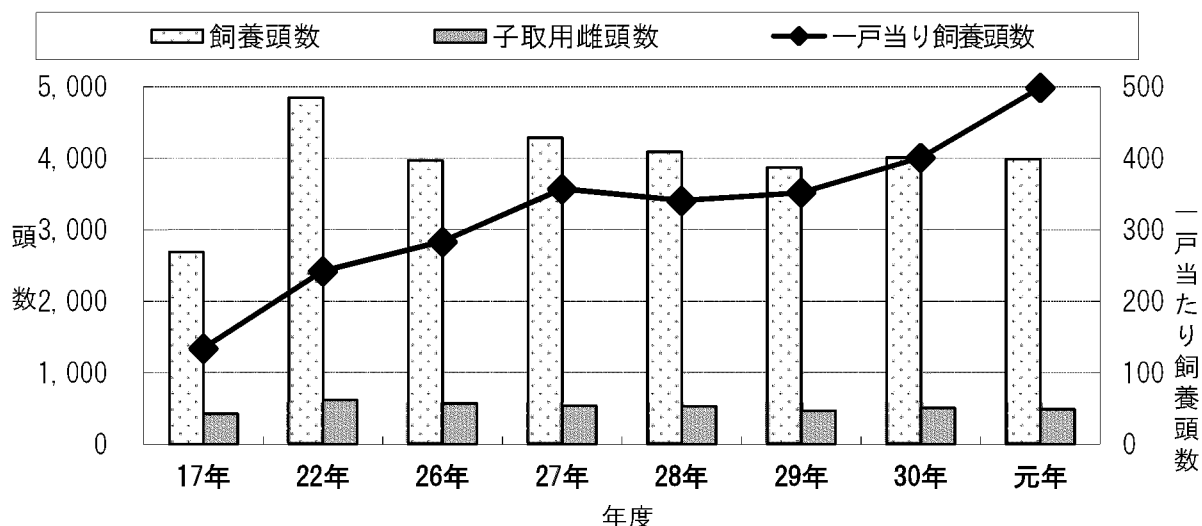
注2) H17年度の処理仕向割合は種子島工場集乳分

(5) 豚

本地域の豚は、肉質の優れたバークシャー種（黒豚）が主に飼養されている。

令和元年度の飼養戸数は8戸、飼養頭数は3,990頭（対前年比99.5%）で、うち子取り用雌豚は490頭（同 96.1%）となっている。

豚の飼養頭数、一戸当たりの飼養頭数の推移



農家戸数と飼養頭数の推移（熊毛）

単位：戸・頭数

年度	農家戸数	飼養頭数	子取用雌頭数	一戸当たり飼養頭数
17年	20	2,690	430	135
22年	20	4,850	620	243
26年	14	3,969	569	284
27年	12	4,290	540	358
28年	12	4,090	530	341
29年	11	3,870	470	352
30年	10	4,010	510	401
元年	8	3,990	490	499

注1) 平成17年は九州農政局鹿児島農政事務所「畜産統計」

注2) 平成22年以降鹿児島県畜産課調べ、熊毛支庁調べ

市町別農家戸数と飼養頭数

単位：戸・頭数

区分	農家戸数	飼養頭数	子取用雌頭数	一戸当たり飼養頭数
西之表市	1	X	X	-
中種子町	3	1,620	160	540
南種子町	2	X	X	-
屋久島町	2	1,530	230	765
計	8	3,990	490	499

注1) 熊毛支庁調べ（R2.2.1）

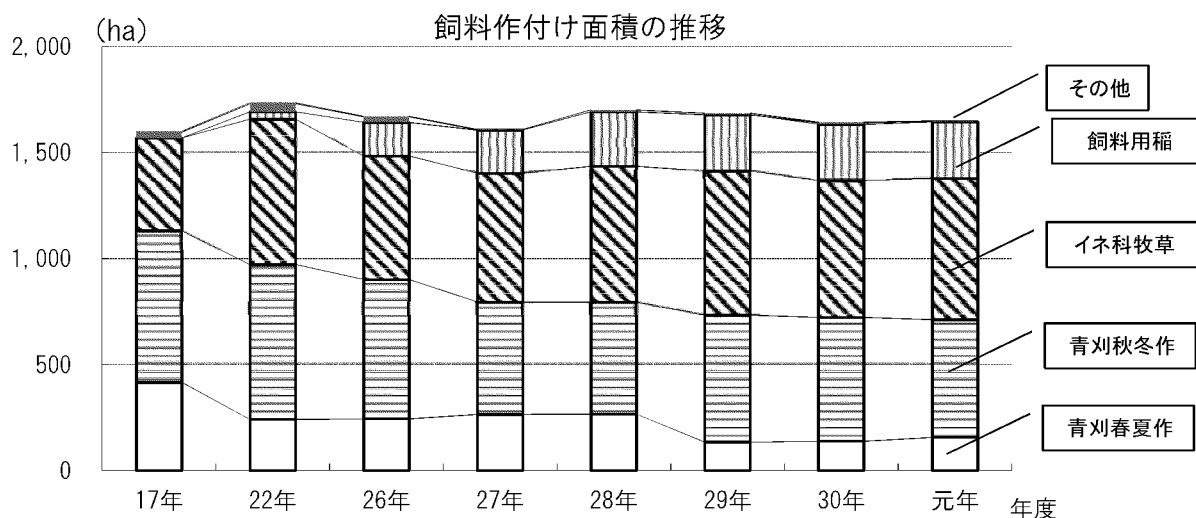
注2) X：秘密保護上公表しないもの

(6) 飼料

ア 飼料作付面積

令和元年の作付面積は、1,649ha（対前年比100.4%）となっている。最近では、ロールベラーやラッピングマシンの普及に伴い、トウモロコシ、ソルゴーなどの長大作物の作付が減少し、ローズグラスやバヒアグラスなどのグラス系が増加しており、中小の酪農経営や肉用牛繁殖経営では、飼料作物のほかにきびトップ等地域の低・未利用資源を積極的に利用している。

温暖な気候を生かした永年牧草を中心とした飼料作付体制のため、冬場の粗飼料確保が課題である中、粗飼料自給率向上対策として飼料用稲の作付拡大が進んでいる。適切な施肥管理等による単収増加を図る必要がある。



飼料作物作付け状況の推移

単位: ha

年度	青刈春夏作	青刈秋冬作	イネ科牧草	飼料用稲	マメ科牧草混播牧草	根菜類実取用	計
17年	416	716	436	0	28	4	1,600
22年	241	730	686	35	38	5	1,735
26年	244	656	583	158	26	3	1,670
27年	265	530	606	205	0	2	1,608
28年	267	528	639	257	0	9	1,700
29年	134	599	679	265	0	8	1,685
30年	138	584	645	266	7	3	1,643
元年	157	555	666	267	4	1	1,649

注1) 平成17年までは鹿児島県畜産課「市町村別畜産統計」、熊毛支庁調べ

令和元年市町別飼料作物作付け状況

単位: ha

区分	青刈春夏作	青刈秋冬作	イネ科牧草	飼料用稲	マメ科牧草混播牧草	根菜類実取用	計
西之表市	52	233	199	30	0	0.0	513
中種子町	89	176	264	28	4	0.0	561
南種子町	15	146	179	210	0	0.0	549
屋久島町	1	1	23	0	0	0.5	26
合計	157	555	666	267	4	1	1,649

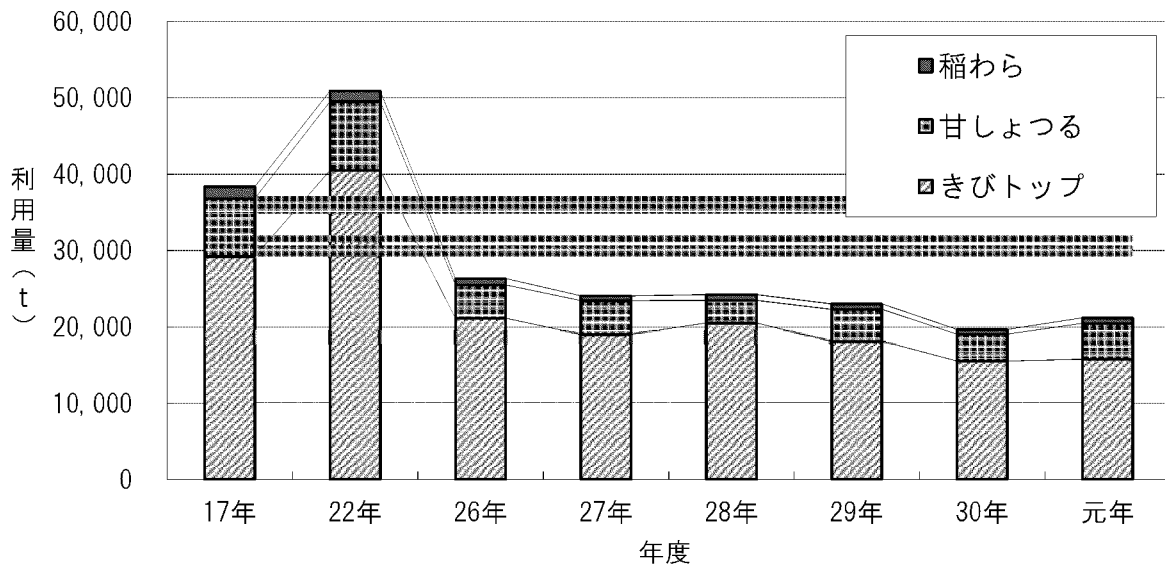
イ 農場副産物の飼料利用

本地域では、基幹作物であるさとうきびやさつまいもの生産過程で発生する、さとうきび梢頭部（きびトップ），さつまいも茎葉（甘しょつる），稲わら等が、家畜の飼料として利用されている。

特に、肉用牛繁殖経営においては、これらの副産物の利用により、冬場の粗飼料不足を補いながら飼料費の低減に努めているが、さとうきびにおいては、ハーベスターによる収穫面積の増加によりきびトップの発生量が減少しているため、きびトップの飼料利用量は減少傾向にある。

今後も、これらの農場副産物の有効利用と併せて、でんぶん粕，焼酎粕等の利用を高める必要がある。

農場副産物の飼料利用量の推移



農場副産物等の飼料利用状況

(単位：t)

年度	きびトップ	甘しょつる	稲わら	計
17年	29,216	7,571	1,572	38,359
22年	40,476	9,011	1,386	50,873
26年	21,111	4,359	845	31,149
27年	19,040	4,364	665	26,315
28年	20,498	2,961	760	24,069
29年	18,116	4,181	726	24,219
30年	15,514	3,520	622	19,656
元年	15,742	4,687	718	21,148

注1) 平成17年は鹿児島県畜産課「市町村別畜産統計」

注2) 平成22年以降は、熊毛支庁調べ

第4節 主要施策の成果

1. 創意と意欲に満ちた担い手づくり

(1) 認定農業者の育成

認定農業者については、令和2年3月末で県全体で7,914戸（前年比161戸減）が農業経営改善計画の認定を受けており、そのうち熊毛管内は459戸（前年比18戸減）となっている。一方、認定農業者のうち農業法人は県全体で1,226戸と近年増加傾向であり、熊毛管内では51戸（前年比1戸増）となっている。

各市町の地域担い手協議会が中心となり、農業経営改善計画の新規・再認定を行いながら、農家経営の向上を目指して積極的な活動を続けている。

ア 管内の認定農業者数の推移

（単位：戸）

年度	西之表市	中種子町	南種子町	屋久島町	計	県全体
H28	154	172	115	79	520	8,191
H29	151	173	93	77	494	8,116
H30	148	161	95	73	477	8,075
元年	140	158	92	69	459	7,914
増減	△ 8	△ 3	△ 3	△ 4	△ 18	△ 161

イ 管内の認定農業者のうち、農業法人数

（単位：戸）

	西之表市	中種子町	南種子町	屋久島町	計	県全体
H28	15	11	8	12	46	1,086
H29	16	14	8	12	50	1,124
H30	16	15	8	11	50	1,192
元年	16	15	10	10	51	1,226
増減	0	0	2	△ 1	1	34

ウ 認定農業者の主幹作目（令和元年度末）

（単位：戸）

西之表市		中種子町		南種子町		屋久島町	
露地野菜	36	さとうきび	70	肉用牛	27	果樹類	39
肉用牛	29	肉用牛	47	さとうきび	23	茶	8
さとうきび	23	露地野菜	10	露地野菜	11	肉用牛	8
茶	18	葉たばこ	10	稲作	10	露地野菜	5
酪農	12	雑穀いも豆	6	施設花き花木	6	薬用植物	4
葉たばこ	10	酪農	4	茶	5	施設花き花木	2
雑穀いも豆	8	茶	3	葉たばこ	3	養豚	2
露地花き花木	3	養豚	2	雑穀いも豆	3	施設野菜	1
施設花き花木	1	施設花き花木	2	果樹類	1		
		果樹類	2	酪農	1		
		稲作	2	露地花き花木	1		
				養豚	1		
計	140	計	158	計	92	計	69

ア～ウともに市町報告

(2) 新規就農者の状況

農業者の高齢化が進む中、新規就農者の確保・育成は重要な課題である。新規就農者については、令和2年3月末で県全体で275戸、そのうち熊毛管内は9戸（前年比2戸減）となっており、直近5か年の新規就農者数は73戸となっている。

新規就農者の育成を図るため、基本技術の習得とあわせて、経営診断や経営計画作成指導等による経営的な能力と、情報収集・処理能力の向上を図っている。

また、将来の農業を担う若い農業者に対しては、パソコン簿記研修・プロジェクト活動等を通じて幅広い知識と技術を習得させるとともに、指導農業士等と連携した巡回指導を開催し、地域を担うリーダーとしての資質向上を図っている。

さらに、平成24年度から始まった農業次世代人材投資事業（旧青年就農給付金事業）を活用し、就農前の研修や就農して間もない時期の経営安定に向けた指導・助言を行い、新規就農者の確保・育成を図っている。

ア 新規就農者の推移

市町名	年度									【参考】 直近5か年間の 新規就農者総数
	23	24	25	26	27	28	29	30	元	
西之表市	8	15	6	9	6	10	2	2	2	22
中種子町	1	2	2	5	6	6	3	2	2	19
南種子町	2	3	3	4	2	9	2	4	3	20
屋久島町	2	7	1	2	3	2	2	3	2	12
地域計	13	27	12	20	17	27	9	11	9	73
県計	307	396	331	302	291	286	273	257	275	1,382

イ 主幹作物別就農状況（令和元年度）

市町名	野菜	花き	肉用牛	茶	普通作	さとうきび	果樹	その他	合計
西之表市			1	1					2
中種子町	2								2
南種子町		1	1	1					3
屋久島町	1			1					2
地域計	3	1	2	3	0	0	0	0	9
県計	86	9	64	16	16	6	21	57	275

ウ 就農形態別就農状況（令和元年度）

市町名	後継者等					新規参入	合計
	高卒	研修施設	Uターン	大学他	計		
西之表市			2		2		2
中種子町			1		1	1	2
南種子町			1		1	2	3
屋久島町			1		1	1	2
地域計	0	0	5	0	5	4	9
県計	51	16	131	3	201	74	275

(注)

1 県出先機関の普及業務担当課が、各年度（各年4月から翌年3月）に把握した新規就農者及び学校教育基本調査の結果を取りまとめたものであり、市町発表と異なる場合がある。なお、県計の就農者数については、就農時期が過年度であっても当該年度に新規掘り起こした就農者を含む。

2 研修施設とは、農業大学校、国・県農業試験場附設の研修施設等である。なお、海外・国内派遣研修を含む。

(3) 市町村農業公社の状況

名称	(公社)西之表市農業振興公社	(公財)種子島農業公社
設立年月日	平成13年9月27日	平成7年7月7日
基本財産	10,000千円	20,000千円
職員数	13人	6人
オペレーター数	7人	2人
農作業受委託面積	1121.8 ^{ヘクタール}	1818.5 ^{ヘクタール}
直営	726.1 ^{ヘクタール}	399.7 ^{ヘクタール}
再委託	395.7 ^{ヘクタール}	1418.8 ^{ヘクタール}

(令和2年3月末時点)

(4) 集落営農組織の育成

区 分	平成28年度末 実績数値	平成29年度末 実績数値	平成30年度末 実績数値	令和元年度末 実績数値
集 落 営 農	11	8	8	7
うち特定農業団体	0	0	0	0
うち特定農業法人	0	0	0	0

管内の集落営農組織は、令和元年度末で7集落

- ① 西之表市川脇集落（安城水稻生産組合） H7～
- ② 西之表市深川集落（深川集落受託作業部会） H18～
- ③ 西之表市番屋峯集落（農事組合法人 種子島茶生産組合） H20～
- ④ 西之表市伊関集落（伊関集落営農組合「百笑一喜」） H30～
- ⑤ 中種子町浜津脇集落（浜津脇集落農地管理組合） H22～
- ⑥ 中種子町宝来集落（宝来集落農地管理組合） H23～
- ⑦ 中種子町原尾集落（原尾集落農地管理組合） H23～

(参考) 市町村基本構想の現状 (令和2年3月現在)

		西之表市	中種子町	南種子町	屋久島町
経営基盤強化の促進に 関する目標 (年間)	認定農業者 農業所得	360万円	360万円	360万円	320万円
	認定新規就農者 労働時間	2,000時間	2,000時間	2,000時間	2,000時間
	認定農業者 農業所得	150万円	認定農業者の 農業所得の4割	150万円	150万円
	認定新規就農者 労働時間	2,000時間	2,000時間	2,000時間	2,000時間
農用地の 利用集積 面積目標	H32年度	50%	60%	50%	35%
	H37年度	70%	70%	70%	50%
農地利用集積円滑 化事業を行う団体		公益社団法人 西之表市農業振興公社	公益財団法人 種子島農業公社	南種子町	屋久島町

2. たくましい農業の基盤づくり

(1) 生産基盤の整備

畑地かんがいは、西之表市では西京ダムの整備により70%程度の整備率であるが、中種子町と南種子町では、ほぼ未整備な状態である。区画整理は水田、畑ともに整備率は低く、県平均68.5%に対し、熊毛は53.5%である。特に中山間地域の小団地では狭小で未整備の農地が多く残されている。農道整備は県平均61.6%に対して70.4%と進んでいるものの、中山間地域を中心に未整備路線も多く残されている。

令和2年3月31日時点

区 分		種子島				屋久島	熊毛計	県計
		西之表市	中種子町	南種子町	計	屋久島町		
ほ場整備 (全体)	整備目標 (ha)	2,620	3,110	1,370	7,100	500	7,600	103,450
	整備済(ha)	1,241	1,691	905	3,836	233	4,069	70,917
	整備率(%)	47.4	54.4	66.0	54.0	46.6	53.5	68.5
ほ場整備 (水田)	整備目標 (ha)	180	220	500	900	100	1,000	32,660
	整備済(ha)	133	167	306	606	83	689	26,245
	整備率(%)	73.7	76.0	61.2	67.3	83.2	68.9	80.3
ほ場整備 (畑)	整備目標 (ha)	2,440	2,890	870	6,200	400	6,600	70,800
	整備済(ha)	1,108	1,523	599	3,230	150	3,380	44,672
	整備率(%)	45.4	52.7	68.8	52.1	37.4	51.2	63.1
かんがい 排水 (用水)	整備目標 (ha)	537	547	650	1,730	180	1,910	38,200
	整備済(ha)	245	146	397	788	180	968	31,468
	整備率(%)	45.6	26.6	61.1	45.5	100.0	50.7	82.4
畑地 かん がい	整備目標 (ha)	1,040	1,920	840	3,800	800	4,600	56,050
	整備済(ha)	723	141	24	888	619	1,507	29,520
	整備率(%)	69.5	7.3	2.9	23.4	77.4	32.8	52.6
農道 整備	整備目標 (km)	750	370	280	1,400	300	1,700	18,790
	整備済(km)	377	354	225	955	242	1,197	11,586
	整備率(%)	50.3	95.5	80.4	68.2	80.7	70.4	61.6
農地 保全	整備目標 (ha)	2,119	1,480	160	3,760	45	3,805	75,470
	整備済(ha)	264	887	159	1,310	44	1,354	62,489
	整備率(%)	12.4	59.9	99.3	34.8	97.8	35.6	82.8

注：ラウンドの関係で合計が合わない箇所がある。

資料：県農地整備課

(2) 経営基盤の強化

優良農地を確保し、農地の有効な利用を推進するため、規模拡大を志向する農業者に対するあっせん活動、農地中間管理事業等による農地の利用集積などを通じて、担い手等の経営規模の強化を図っている。

区分	担い手への農地利用集積状況						農地移動適正化あっせん事業の実施状況	
	担い手数(※)		担い手への農用地利用集積面積(※)		担い手への集積率(※)		あっせん件数	あっせん面積
	人	うち、認定農業者数 人	ha	うち、認定農業者への利用集積面積 ha	%	うち、認定農業者への集積率 %		
市町							件	ha
西之表市	218	140	736	569	23.4	18.1	14	0.30
中種子町	195	158	1,095	999	32.4	29.6	—	—
南種子町	117	92	623	534	28.8	24.7	—	—
屋久島町	80	69	280	252	28.7	25.8	—	—
計	610	459	2,734	2,354	28.1	24.2	14	0.30
前年度計	624	477	2,649	2,325	27.2	23.9	14	0.25
増減	△14	△18	85	29	0.9	0.3	0	0.05

※ 表中の「担い手」とは、認定農業者、認定新規就農者、基本構想水準到達者、集落営農経営を指す。

(令和元年度末、市町報告)

(3) 環境にやさしい農業の推進

ア 健全な土づくり

① 土壌の特性

本地域の水田土壌の多くは、腐植含量が少なく、粗い土性のため、養分が欠乏している。また、河川流域や谷間などに分布する水田の多くは排水不良である。台地上に分布する水田は、火山灰土壌で燐酸や塩基類の乏しい土壌が多く、含鉄資材、珪酸資材の投入、塩基類の補給、有機物の増施、施肥改善、排水等の対策が必要な土壌である。

畑土壌は、水成岩上に堆積した洪積層の上部をバン土性の強い不良火山灰土壌が覆っており、山腹の傾斜地や液状地帯には表土の流亡した生産力の低い畑地が広く分布している。このため、バン土性の改良、土壌浸食防止、深耕、有機物増施、かんがい対策等の必要な土壌である。

② 地力保全

良質堆肥の生産利用を推進し、有機物の施用や深耕等による健全な土づくりに努めるとともに、定期的な土壌診断に基づく施肥管理を推進している。

イ 持続性の高い農業生産方式の導入推進

国民の「安心・安全な農産物生産」及び「農業が果たす多面的機能」への関心が高まる中で、生産性と環境保全が調和する持続的な農業の展開が求められている。このため、持続性の高い農業生産方式の導入計画を立て、認定を受けたエコファーマーの育成・確保に努めている。

エコファーマーの認定状況（令和2年3月末時点）

市町名	認定件数	主な品目
西之表市	6	青果用さつまいも、加工用さつまいも
中種子町	1	青果用さつまいも
南種子町	24	青果用さつまいも、早期水稻、にんじん
屋久島町	1	ばれいしょ
地区計	32	

ウ かごしまの農林水産物認証制度の導入推進

消費者の食の安心・安全への関心の高まりに対応するために、熊毛地域では関係機関が一体となって「かごしまの農林水産物認証制度（K-GAP）」の取得を促進している。JA取扱いの主要な園芸品目で取得しているほか、青果用さつまいも（安納いも）では、個人・団体で取得した。

令和元年度は、前年比1件増の86件が認証された。

令和元年度かごしまの農林水産物認証制度認証実績

令和2年3月末日現在

件数	認証団体等	市町村名	品目	認証年月日	認証回数	肥・農・特裁
1	西之表市野菜部会協議会 マメ類部会	西之表市	そらまめ	R1.12.17	13	
2		西之表市	さやえんどう	R1.11.26	12	
3		西之表市	スナップえんどう	R1.11.26	13	
4		西之表市	いんげん	R1.10.23	11	
5		西之表市	突えんどう	R1.11.26	2	
6	西之表市野菜部会協議会 果菜類部会	西之表市	かぼちゃ(春)	H31.4.23	13	
7		西之表市	かぼちゃ(抑制)	R1.11.26	9	
8		西之表市	ブロッコリー	R1.12.17	3	
9		西之表市	にがうり	R1.5.28	7	
10	西之表市	オクラ	R1.5.28	7		
11	西之表市野菜部会協議会 ばれいしょ部会	西之表市	ばれいしょ	R2.1.28	12	
12	西之表市野菜部会協議会青果用さつまいも部会	西之表市	さつまいも	R1.8.20	13	
13	株式会社 安納スウィーツファーム 農業生産法人	西之表市	さつまいも	R1.8.20	12	
14	安納地区さつまいも生産グループ	西之表市	さつまいも	R1.8.20	10	
15	有限会社 西田農産	西之表市	さつまいも	R1.9.25	10	
16	野崎 一夫	西之表市	さつまいも	R1.8.20	10	
17	平原 英実	西之表市	さつまいも	R1.8.20	10	
18	こだわり工房「ひょうたん島」	西之表市	さつまいも	R1.10.23	11	
19	マル種園芸組合	西之表市	さつまいも	R1.9.25	10	
20	有限会社 FYファーム	西之表市	さつまいも	R1.9.25	10	
21	山田 利光	西之表市	さつまいも	R1.9.25	10	
22	農業生産法人 株式会社 REIMEI	西之表市,中種子町	さつまいも	R1.8.20	9	
23		西之表市	スナップえんどう	R1.11.26	4	
24	折口生産グループ	西之表市	さつまいも	R1.8.20	9	
25	SKファーム	西之表市	さつまいも	R1.9.25	9	
26	種子島現和風本生産グループ	西之表市	さつまいも	R1.9.25	9	
27	濱川 和成	西之表市	さつまいも	R1.8.20	7	
28	竹之内 安宏	西之表市	さつまいも	R1.8.20	6	
29	木下 元子	西之表市	さつまいも	R1.11.26	6	
30	特撰種子島安納いも生産部会	西之表市	さつまいも	R1.10.23	5	
31	遠藤 建次郎	西之表市	さつまいも	R1.8.20	4	
32	脇 正司	西之表市	さつまいも	R1.8.20	3	
33	鎌倉 隆幸	西之表市	さつまいも	R1.8.20	2	
34	荒河 健一	西之表市	さつまいも	R1.8.20	2	
35	上妻 輝光	西之表市	さつまいも	R1.10.23	2	
36	柳 武春	西之表市	さつまいも	R1.9.25	4	
37	武 龍二	西之表市	さつまいも	R1.9.25	1	
38	さご農園	西之表市	パッションフルーツ	R1.6.18	8	農薬不使用
39	西之表市茶業振興会 K-GAP推進部会	西之表市	緑茶	R2.2.18	3	
40	種子屋久農協 中種子町園芸振興会スナップエンドウ部会	中種子町,西之表市	スナップえんどう	R1.11.26	12	
41	種子屋久農協 中種子町園芸振興会ブロッコリー部会	中種子町	ブロッコリー	R1.11.26	10	
42	種子屋久農協 中種子町園芸振興会さつまいも部会	中種子町	さつまいも	R1.8.20	10	
43	種子屋久農協 中種子町園芸振興会 ばれいしょ部会	中種子町	ばれいしょ	R2.1.28	10	
44	種子屋久農協 中種子町園芸振興会 南瓜部会	中種子町	かぼちゃ	R1.11.26	6	
45	種子島安納株式会社	中種子町,西之表市	さつまいも	R1.8.20	10	

件数	認証団体等	市町村名	品目	認証年月日	認証回数	肥・農・特裁
46	砂坂 展恵	中種子町	さつまいも	R1.8.20	10	
47	農業生産法人 株式会社 さんこうファーム	中種子町	さつまいも	R1.8.20	10	
48	岩田 正利	中種子町	さつまいも	R1.8.20	10	
49	永演農園	中種子町	さつまいも	R1.8.20	10	
50	株式会社 種子島安納大地	中種子町	さつまいも	R1.9.25	10	
51	中馬 幸人	中種子町	さつまいも	R1.8.20	9	
52	大町田 房子	中種子町	さつまいも	R1.8.20	8	
53	株式会社 たすくる	中種子町	さつまいも	R1.8.20	4	
54	種子屋久農協中種子果樹部会マンゴー部会	中種子町,南種子町	マンゴー	R1.5.28	10	
55	種子屋久農協中種子果樹部会 たんかん部会	中種子町	たんかん	R2.1.28	8	
56	山崎 大祐	中種子町	さつまいも	R1.9.25	5	特別栽培農産物
57	渡辺 勉	中種子町	さつまいも	R1.8.20	4	
58	株式会社 九州トータルプランニング	中種子町	さつまいも	R1.9.25	5	特別栽培農産物
59	株式会社 うずえ屋	中種子町	さつまいも	R1.9.25	3	特別栽培農産物
60	永浜 俊介	中種子町	さつまいも	R1.10.23	1	
61	種子屋久農協 南種子町園芸振興会 まめ類部会	南種子町	さやえんどう	R1.11.26	11	
62		南種子町	スナップえんどう	R1.11.26	11	
63	種子屋久農協南種子町園芸振興会 さつまいも部会	南種子町	さつまいも	R1.8.20	10	
64	種子屋久農協南種子町園芸振興会 バレイショ部会	南種子町,中種子町	ばれいしょ	R2.1.28	10	
65	種子屋久農協南種子町園芸振興会 カボチャ部会	南種子町	かぼちゃ	R1.11.26	5	
66	種さん	南種子町	さつまいも	R1.8.20	10	
67	LLP法人宇宙船種子島 さつまいも生産部	南種子町	さつまいも	R1.9.25	10	
68	株式会社 大脇農園	南種子町	さつまいも	R1.8.20	10	特別栽培農産物
69	友愛ファーム	南種子町	さつまいも	R1.8.20	10	
70	小脇 政秀	南種子町	さつまいも	R1.8.20	10	
71	日高 洋子	南種子町	さつまいも	R1.8.20	10	
72	種子島南興ファーム	南種子町	さつまいも	R1.10.23	10	
73	向井 隆博	南種子町	さつまいも	R1.8.20	9	
74	種子島銀河商店	南種子町	さつまいも	R1.9.25	8	
75	種子島安納芋生産組合	南種子町,中種子町	さつまいも	R1.9.25	6	特別栽培農産物
76	西園 竜太	南種子町	さつまいも	R1.8.20	4	
77	小脇 文子	南種子町	さつまいも	R1.8.20	4	
78	アグリカルANNO	南種子町	さつまいも	R1.9.25	5	
79	Orga種子島	南種子町	さつまいも	R1.9.25	6	
80	鮫島 辰義	南種子町	さつまいも	R1.9.25	4	
81	株式会社 夢福	南種子町	さつまいも	R1.9.25	4	
82	大脇 正秀	南種子町	さつまいも	R1.9.25	2	
83	菱川農園	南種子町	さつまいも	R1.10.23	3	
84	種子屋久農協 屋久団地野菜部会	屋久島町	ばれいしょ	R2.1.28	10	節減対象農薬低減
85		屋久島町	突えんどう	R1.12.17	9	
86	種子屋久農協屋久島果樹部会	屋久島町	たんかん	R2.1.28	14	

エ 農業用廃プラスチック類の回収の推進

使用済みの被覆資材等の農業用廃プラスチック類は、産業廃棄物として扱う必要があり、農家自らの責任で適正に処理をしなければならない。一方で、これらの資材は、リサイクル資源でもあり、環境にやさしい農業を推進する観点からも再処理が求められている。

このため、各市町の農業用廃プラスチック類適正処理推進協議会において、廃プラ等の適正処理に向けた普及啓発や定期的な回収が行われている。

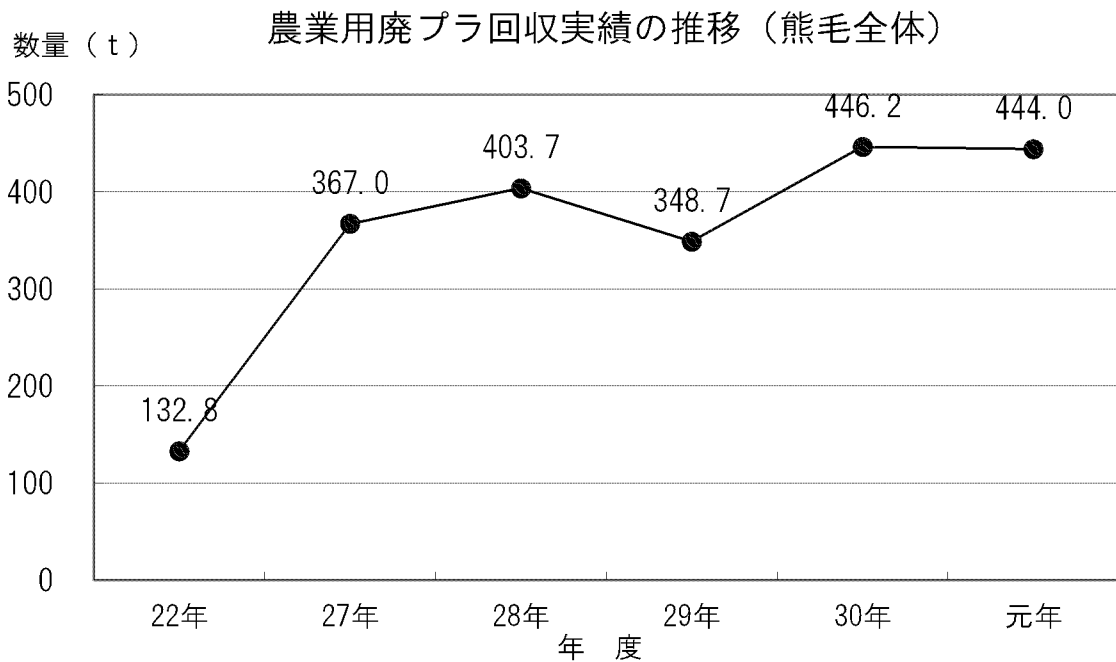
再生処理実績の推移

(t, %)

市町	年度	22年	27年	28年	29年	30年	元年
		H21.7~H22.6	H27.4~H28.3	H28.4~H29.3	H29.4~H30.3	H30.4~H31.3	H31.4~R02.3
西之表市	数量	63.4	195.0	225.0	175.4	196.7	197.0
	再生処理率	25.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
中種子町	数量	17.9	95.0	104.1	89.9	80.4	76.0
	再生処理率	17.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
南種子町	数量	36.6	54.0	58.1	60.9	143.7	147.0
	再生処理率	100.0	39.7	41.6	42.9	45.0	51.0
屋久島町	数量	14.9	23.0	16.5	22.5	25.4	24.0
	再生処理率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
熊毛計	数量	132.8	367.0	403.7	348.7	446.2	444.0
	再生処理率	33.0	81.7	82.8	81.1	81.1	83.8
県計	数量	4,210.0	4,835.0	5,297.0	6,187.0	6,053.0	5,791.0
	再生処理率	74.0	85.2	86.2	85.8	87.4	84.5

※市町報告（農業用廃プラスチック類に関する調査）

※25年度から調査期間が変更された。



3. 鳥獣害対策について

(1) 現状

鳥獣による令和元年度の鳥獣被害額は123百万円で、鳥獣別ではヒヨドリによる被害が最も多く、68百万円であった。

近年シカによる被害額は減少傾向にあり、これまでの各種対策の効果が現れつつある。

鳥獣害は耕作放棄地の拡大や農業者の生産意欲の減退につながることから、作物残渣の適正処理など地域ぐるみの対策を進めつつ、補助事業を活用して捕獲支援や侵入防止柵の設置などの被害防止対策を実施している。

(2) 被害額の推移

単位；千円

鳥獣	地区	H27	H28	H29	H30	R01	被害品目
シカ	種子島	70,872	65,625	46,417	38,367	39,124	種子島 さつまいも、さとうきび、牧草、水稻、茶等 屋久島 たんかん、ぼんかん、茶等
	屋久島	6,723	4,975	4,303	4,031	3,940	
	計	77,595	70,600	50,720	42,398	43,064	
サル	種子島	0	0	0	0	0	たんかん、ぼんかん、さつまいも等
	屋久島	3,254	2,349	2,368	2,249	2,318	
	計	3,254	2,349	2,368	2,249	2,318	
タヌキ 他獣害	種子島	74	0	0	0	0	牧草
	屋久島	0	0	0	0	1,849	
	計	74	0	0	0	0	
カラス	種子島	2,711	5,160	5,323	13,058	5,018	種子島 スナップエンドウ、さつまいも等 屋久島 たんかん、ぼんかん、ばれいしょ等
	屋久島	412	160	124	113	141	
	計	3,123	5,320	5,447	13,171	5,159	
ヒヨドリ	種子島	10,210	2,770	696	304	7,769	種子島 ばれいしょ、ブロッコリー、スナップエンドウ等 屋久島 たんかん、ばれいしょ等
	屋久島	2,394	0	0	0	60,404	
	計	12,604	2,770	696	304	68,173	
スズメ カモ ハト他	種子島	2,784	13,277	1,807	2,646	2,772	水稻、さつまいも等
	屋久島	0	0	0	0	0	
	計	2,784	13,277	1,807	2,646	2,772	
計	種子島	86,651	86,833	54,242	54,375	54,683	
	屋久島	12,783	7,484	6,795	6,393	68,652	
	計	99,434	94,316	61,038	60,768	123,335	

(3) 鳥獣侵入防止対策の主な実施状況

年度	事業名	地区	事業内容	事業量(柵延長)(m)
R01	鳥獣被害防止総合対策交付金 (鳥獣被害対策実践事業)	西之表市	シカ用金網柵	5,224
		中種子町	シカ用電気柵	10,980
	畑地帯総合整備事業(担い手育成型) 鈴岳地区、鈴岳2期地区	屋久島町	サル・シカ用金網電気柵	4,557

4 . 活力にみちたむらづくり

(1) 共生・協働のむらづくり

平成18年度まで展開してきた「新・農村振興運動」を再構築し、平成19年度から、NPO法人や都市住民などの地域外の活力導入，都市部からの定住促進，農林水産業以外も含めた新たな産業興しを推進する観点から，「共生・協働の農村づくり運動」を推進している。

中山間地域等直接支払交付金制度については，中種子町の4集落で協定を締結し，協定に基づく農用地の保安全管理等の共同作業が行われている。

また，多面的機能支払交付金を活用した水土里サークル活動については，4市町81組織が取り組んでおり，約4,011haの農地で保安全管理等の共同作業が行われている。

● むらづくり活動の情報発信

区 分	掲載地区
むらづくり通信 (令和2年3月発行)	種子島・伊関農泊推進協議会 (西之表市)

● 管内のむらづくり活動の事例

地区名	活動内容
西之表市 中割地区	<p>閉校となった小学校跡地を，地区の交流拠点施設として活用</p> <p>【農村集落の再生活動】 平成26年に閉校となった中割地区の鴻峰小学校を，国や県の補助金等を活用して「中割地区地域活性化交流拠点施設」（愛称「このみね館」）として生まれ変わらせ，平成29年10月1日に開所式を執り行った。</p> <p>【このみね祭り】 ・平成30年3月に第1回目が開催された「このみね祭り」は，今年度も5月に第2回目が盛大に開催された。地区の内外から多数の人が訪れ，もちつき体験や農産物・地元産物の直売を通して都市農村交流が行われている。</p> <p>【荒廃農地の活用】 荒廃農地を活用し，しょうがの生産・加工・販売を実施している。また，加工場を地区住民の交流の場として活用している。</p>

(2) 中山間地域等直接支払交付金制度

(令和2年3月末現在)

市 町 名	協 定 数	協定農用地面積(m ²)
中 種 子 町	4	92,895
熊 毛 計	4	92,895

(3) 多面的機能支払交付金(水土里サークル活動)

ア 農地維持支払交付金

地域住民の多くの参画を得て実施する地域ぐるみの保全管理活動を支援

【令和元年度 農地維持支払交付金実績】 (令和2年3月末現在)

市町名	区分	地区数	対象農用地 (ha)				交付額 (千円)
			水田	畑	草地	計	
西之表市		32	139.1	1,048.1	0.0	1,187.2	25,135
中種子町		25	184.7	1,497.0	50.2	1,731.9	35,607
南種子町		11	96.9	477.0	0.0	573.9	12,447
屋久島町		13	38.2	479.2	0.0	517.5	10,731
熊毛計		81	458.9	3,501.3	50.2	4,010.5	83,920

イ 資源向上支払交付金

農業用排水路や農道等の長寿命化を図るための補修等の取り組みを支援

【令和元年度 資源向上支払交付金(共同活動)実績】 (令和2年3月末現在)

市町名	区分	地区数	対象農用地 (ha)				交付額 (千円)
			水田	畑	草地	計	
西之表市		31	131.1	980.1	0.0	1,111.2	13,684
中種子町		22	169.3	1,198.9	35.8	1,404.0	18,842
南種子町		11	94.5	470.7	0.0	565.2	7,000
屋久島町		13	38.2	479.2	0.0	517.5	6,025
熊毛計		77	433.1	3,128.9	35.8	3,597.9	45,551

【令和元年度 資源向上支払交付金(長寿命化)実績】 (令和2年3月末現在)

市町名	区分	地区数	対象農用地 (ha)				交付額 (千円)
			水田	畑	草地	計	
西之表市		3	10.1	121.7	0.0	131.8	2,068
中種子町		1	21.0	81.4	0.0	102.4	1,833
南種子町		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
屋久島町		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
熊毛計		4	31.1	203.1	0.0	234.2	3,901

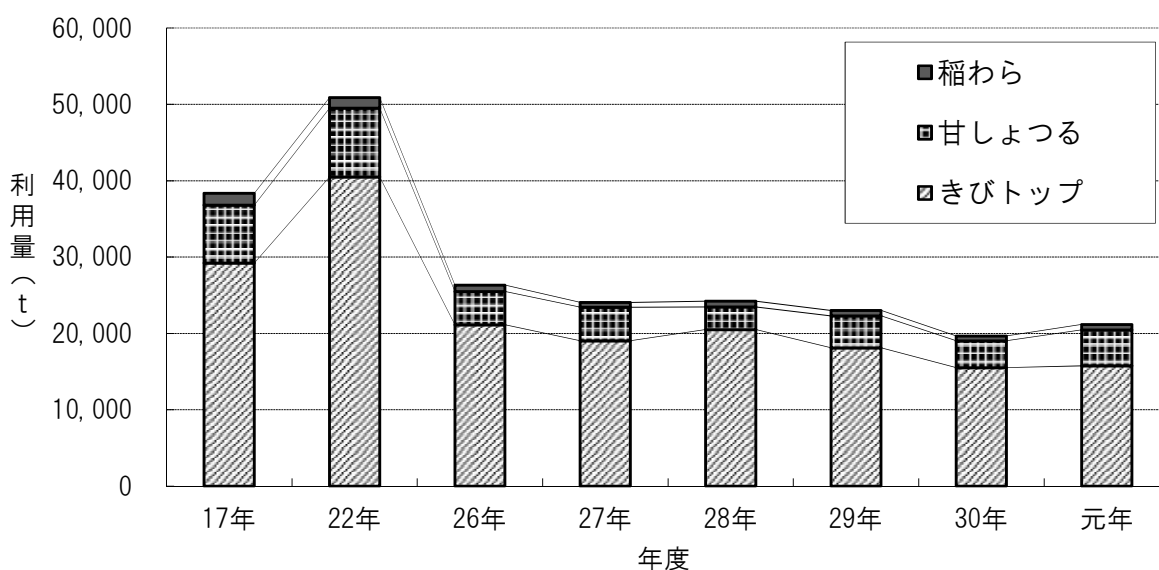
イ 農場副産物の飼料利用

本地域では、基幹作物であるさとうきびやさつまいもの生産過程で発生する、さとうきび梢頭部（きびトップ）、さつまいも茎葉（甘しょつる）、稲わら等が、家畜の飼料として利用されている。

特に、肉用牛繁殖経営においては、これらの副産物の利用により、冬場の粗飼料不足を補いながら飼料費の低減に努めているが、さとうきびにおいては、ハーベスターによる収穫面積の増加によりきびトップの発生量が減少しているため、きびトップの飼料利用量は減少傾向にある。

今後も、これらの農場副産物の有効利用と併せて、でんぷん粕、焼酎粕等の利用を高める必要がある。

農場副産物の飼料利用量の推移



農場副産物等の飼料利用状況

(単位：t)

年度	きびトップ	甘しょつる	稲わら	計
17年	29,216	7,571	1,572	38,359
22年	40,476	9,011	1,386	50,873
26年	21,111	4,359	845	31,149
27年	19,040	4,364	665	26,315
28年	20,498	2,961	760	24,069
29年	18,116	4,181	726	24,219
30年	15,514	3,520	622	19,656
元年	15,742	4,687	718	21,148

注1) 平成17年は鹿児島県畜産課「市町村別畜産統計」

注2) 平成22年以降は、熊毛支庁調べ